

平成30年度
都筑区個性ある区づくり推進費
決算状況について



都 筑 区
25th

令和元年9月4日

都 筑 区

目 次

平成30年度 都筑区個性ある区づくり推進費 決算状況について	1
平成30年度 都筑区自主事業説明書	
自主企画事業費	
施策1 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり	
1 地域の子育て力アップ事業 重点	3
2 つづき健康づくりサポート事業 重点	5
3 シニア☆スター活躍応援事業 重点	7
4 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業	8
5 保育所を拠点とした地域子育て支援事業 拡充	9
6 学校・家庭・地域連携推進事業	10
7 青少年健全育成事業	11
8 障害者交流啓発事業	13
施策2 活力とにぎわいあふれるまちづくり	
9 つづき“縁”ジン事業	14
～人づくり・つながりづくり・女性が輝くまちづくり～ 重点 拡充	
10 メイドインつづき推進事業 重点	16
11 国際交流・多文化共生事業	17
～第7回アフリカ開発会議横浜開催で広がるアフリカ交流～ 重点 拡充	
12 未来につなぐオリンピック・パラリンピック事業 重点	18
13 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	19
14 「図説 都筑の歴史」編さん事業 拡充	20
15 自治会・町内会支援事業 拡充	21
16 文化活動支援・スポーツ振興事業	22
17 街のにぎわいづくり事業	24
施策3 安心して暮らせるまちづくり	
18 災害にそなえる自助・共助の推進事業 重点	25
19 危機管理対策推進事業	27
20 安全・安心なまちづくり事業	29
21 食と暮らしの安全推進事業 拡充	30
施策4 豊かな環境をいかしたまちづくり	
22 つづき水と緑の魅力アップ推進事業 重点	31
23 環境にやさしいまち推進事業	32
24 まちづくり総合調整事業	34
25 ハマロードサポーター、公園・緑道愛護会活動推進事業 拡充	35
施策5 共感と信頼の区役所づくり	
26 広報・広聴事業	36
27 区役所改善推進事業 拡充	37

※ 重点事業は **重点** 拡充事業は **拡充** と表記しています。

平成30年度 都筑区個性ある区づくり推進費 決算状況について

＜個性ある区づくり推進費総括表＞

（単位：円）

区 分	予算額	決算額	差引額
1 自主企画事業費	101,491,000	100,843,942	647,058
2 統合事務費	22,003,000	20,529,148	1,473,852
3 区庁舎・区民利用施設管理費	628,431,000	628,926,614	△ 495,614
合 計	751,925,000	750,299,704	1,625,296

＜内訳＞

1 自主企画事業費

（単位：円）

施 策	予算額	決算額	差引額
(1) いきいきと健やかに暮らせるまちづくり	24,798,000	24,296,311	501,689
(2) 活力とにぎわいあふれるまちづくり	23,375,000	22,645,738	729,262
(3) 安心して暮らせるまちづくり	17,254,000	17,487,959	△ 233,959
(4) 豊かな環境をいかしたまちづくり	12,673,000	9,895,068	2,777,932
(5) 共感と信頼の区役所づくり	23,391,000	26,518,866	△ 3,127,866
合 計	101,491,000	100,843,942	647,058

3 区庁舎・区民利用施設管理費

（単位：円）

区 分	予算額	決算額	差引額
区庁舎等管理費（光熱水費含む）	230,276,000	232,874,845	△ 2,598,845
区版市民活動支援センター	801,000	794,652	6,348
土木事務所管理費（光熱水費含む）	5,794,000	4,598,980	1,195,020
地区センター等管理費	143,872,000	143,872,000	0
ログハウス管理費	7,691,000	7,691,000	0
公会堂管理費（光熱水費含む）	32,816,000	32,577,514	238,486
老人福祉センター等管理費	104,147,000	104,145,135	1,865
コミュニティハウス管理費	49,500,000	49,166,870	333,130
区スポーツセンター管理費	38,700,000	38,700,000	0
都筑多文化・青少年交流プラザ管理費	6,894,000	6,894,000	0
その他（広場・遊び場）	440,000	415,866	24,134
区庁舎・区民利用施設修繕費	7,500,000	7,195,752	304,248
合 計	628,431,000	628,926,614	△ 495,614

平成 30 年度 都筑区自主企画事業説明書

施策 1 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

1 地域の子育てケアアップ事業 重点	H30 予算額	H30 決算額	差引額
		866 万 1 千円	862 万 4 千円

1 夫婦で子育て応援事業

就労をしている妊婦や夫（パートナー）が参加しやすいように、土曜日に半日コースの両親教室を実施しました。就労している妊婦の増加等で土曜開催両親教室の申し込みが多いため、区役所会場を2回増やし、区役所会場で4回と地域子育て支援拠点 P o p o l a（ポポラ）会場で4回実施しました。

- ・区役所会場：5月12日 参加者数36組、8月25日42組、11月10日45組、
2月9日29組
- ・ポポラ会場：7月28日 参加者数16組、9月22日16組、1月26日16組、
3月23日16組

2 外遊び広め隊事業

乳幼児の親子が継続的・自主的に外遊びを実施できるよう支援するため、地域の外遊び団体を対象にした情報交換会を実施しました。また、外遊びの必要性を普及啓発するために「外遊び研修会」を開催しました。

- ・外遊び連絡会：6月20日 参加者数19人、2月20日21人
- ・外遊び研修会：10月12日 参加者数97人
- ・外遊びリーフレット作成：8,000部（乳幼児健診、こんにちは赤ちゃん訪問等で配布）

3 子育てネットワーク事業

ポポラや子育て関係機関等と協力して、地域ごとの子育て支援の情報交換会等を継続して実施しました。また、区全体の子育て支援者を対象に、お互いの活動を共有するための「子育てネットワーク交流会」を引き続き開催しました。

子育てサークルの運営を支援するために、サークルリーダーを対象に、研修や運営支援、情報交換の場の提供を行いました。

子育て中の養育者が、地域の子育て支援の担い手になるように、「つづきママネット講座」を実施し、子育て当事者の人材を育成しました。

- ・子育てネットワーク会議：6月1日 参加者数31人、2月13日24人
- ・子育てネットワーク交流会：12月3日 参加者数97人
- ・サークル交流会：6月11日 参加者数31組、1月25日8組
- ・つづきママネット講座：6月29日 参加者数13組、7月6日12組、
9月14日12組
- ・ママによるママのための手作りいやしイベント「未就学児とママのほっこりプレハロウィン」：10月30日、参加者数約200組

4 虐待等相談及び養育支援事業

養育にうまく対応できていない保護者に対して、訪問員や相談員が継続的な養育支援を行い、児童虐待の予防に努めました。

5 放課後キッズクラブ運営NPO法人設立支援事業

はまっ子ふれあいスクール及び放課後キッズクラブの運営法人を対象に、はまっ子ふれあいスクール運営委員会に対するNPO法人設立支援を実施しました。放課後キッズクラブ運営開始後に必要な情報の交換会及びキッズクラブ通信の発行を行いました。

- ・第1回情報交換会・勉強会 「補助金の種類と仕組みを知ろう！」
：6月25日 5団体、参加者数7人
- ・第2回情報交換会・勉強会 「気になる子ども・気になる親」
：12月5日 5団体、参加者数13人
- ・各クラブの主任向けに運営に役立つ情報をまとめた、キッズクラブ通信を発行
：9月、12月、1月、3月、年4回

6 地域が支える子ども達の居場所づくり事業

地域の協力を得て、様々な課題を抱えた小学生を対象に、学習習慣や生活習慣を身に付けられるきっかけとなるよう、子ども達の居場所づくりを実施しました。

- ・池辺町連合自治会館：参加児童数延べ148人、計35回

7 学齢期保護者のネットワークづくり支援事業

未就学児のいる保護者を対象に、いわゆる「小1の壁」の不安を軽減するため、講演会や放課後児童育成事業の紹介を行い、あわせて、各小学校PTAの協力を得て同じ小学校に入学予定の保護者同士の情報交換の場を設けました。

- ・講演会「小学校入学前に知っておきたい大切なこと～今から備える「小1の壁」～」
：9月1日 参加者数71人、8日68人、15日64人、区役所1階多目的室、PTA協力者数44人

8 「つづき・育なび」推進事業

スマートフォンやパソコンから乳幼児健診や保育園・幼稚園、医療機関、お出かけスポット、予防接種スケジュールなどの情報を手軽に見られる「つづき・育なび」ウェブ版及びアプリを運用しました。

9 区民による子育てマップ（つづきチルコロMAP）の作成

子育て中の区民がもつ外遊びや公園等の情報を掲載した子育てマップ（つづきチルコロMAP）を、ポポラと協働で更新しました。（3月、9,500部）

2 つづき健康づくりサポート事業 重点	H30 予算額	H30 決算額	差引額
	176 万 2 千円	196 万円	△19 万 8 千円

1 生活習慣病・がん予防啓発事業

健康寿命に影響を与える生活習慣病や死因の第1位を占めるがんについての正しい知識や情報を発信し、その予防方法について啓発するとともに、運動習慣の定着やがん検診受診勧奨などに取り組みました。平成29年度に決定した「つづき つづける 健康づくり」ののぼり旗の作成・活用により、区役所全体で区民の健康づくりを支援することを広くアピールしました。

- ・生活習慣病予防、運動啓発パネル展：10月31日～11月7日、区民ホール
- ・大腸がんトイレットペーパーを活用したがん啓発：毎月末、区役所1・2・6階トイレ
- ・3歳児健診保護者を対象とした乳がん啓発：月2回、啓発者数2,145人（うち個別指導793人）

2 食育推進事業

親子で参加できるイベントや講座等を実施し、子どもたちが健全な食生活を送ることができるよう啓発しました。また、1歳前後の子どもの食生活に関する育児不安が強いため、子育て支援事業会場で乳幼児向けの食事相談を行いました。

さらに、子どもたちが成長に合わせた切れ目のない食育を受けることができるよう、保育施設や小・中学校の栄養士や保育士、養護教諭等の食育担当者による情報交換会を実施しました。

- ・食育フェアパネル展：6月15日～21日、イベント：6月23日、区民ホール、参加者数800人（延べ4,685人）
- ・子育て支援事業会場における乳幼児向けの食事相談
：区内11か所、計13回、参加者数288人
- ・食育情報交換会：第1回7月3日、参加者数41施設 53人
第2回12月6日、参加者数37施設 51人（ヘルスマイト5人含む）

3 地域の健康づくり人材育成

保健活動推進員や食生活等改善推進員等の活動のコーディネイトや、合同の研修会を行うことにより、お互いの連携や協力を促し活動の更なる充実を図りました。

- ・保健活動推進員、食生活等改善推進員 合同研修会
：2月4日、参加者数 保健活動推進員 59人 食生活等改善推進員 24人

4 健康づくり環境整備

国民健康保険の被保険者をはじめとする区民が健康づくりに関心を持てるよう、保険年金課待合スペースにおける「座ってできるストレッチ」DVD放映や、健康づくり関連の雑誌等の配架による待合時間の有効活用を引き続き実施しました。

主な増減	区民の健康づくりを支援するための取組である「都筑区健康アクション！」を周知するためのリーフレットを新たに作成したことによる印刷製本費及び委託料の増
------	---------------------------------------------------------------------------

3 シニア☆スター活躍応援事業 重点	H30 予算額	H30 決算額	差引額
		189 万 4 千円	184 万 4 千円
<p>1 シニア☆スター養成講座</p> <p>地域包括ケアシステムの構築及び地域福祉保健計画推進の重要な取組の一つである「社会参加や地域活動の担い手として活躍できる人材育成を進める」ことを目的に、民間の経験と技術を生かし企画した講座を開催しました。自らが中心となって地域活動の場を開催・運営することができる人材を育成することで、地域活動の活性化を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シニア☆スター養成講座：6月4日～7月23日、6回、修了者数11人 ・シニア☆スターフォローアップ講座：2月4日、2月19日、参加者数延べ18人 <p>2 認知症普及啓発事業</p> <p>(1) 認知症人材育成講座</p> <p>認知症に関する知識を習得し、地域での普及啓発等の活動に携わる人材を育成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症キャラバンメイト交流会：1月28日、参加者数31人 <p>(2) 認知症普及啓発活動</p> <p>地域の方や認知症に関わる団体等が連絡会を開催し、情報共有や企業・小中学校等を対象とした認知症の理解や予防に関する出前講座を実施しました。また、区民の皆様が認知症の理解を深めるための講演会等を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポート連絡会：年12回 ・出前講座：年37回、参加者数2,281人 ・パネル展：8月30日～9月5日、区民ホール ・講演会「認知症フォーラム」：9月5日、都筑公会堂、参加者数384人 <p>3 福祉保健情報提供事業</p> <p>福祉保健情報コーナー「ふくほの森」の管理・運営、サポートスタッフ（市民ボランティア）を配置しました。</p> <p>チラシ・パンフレットの配布や閲覧資料の紹介、介護施設サービス等の情報提供、申請書類の記載支援、お客様の案内誘導等を行いました。</p>			

4 都筑区地域福祉保健計画 「つづき あい」推進事業	H30 予算額	H30 決算額	差引額
	291 万円	271 万 4 千円	19 万 6 千円
<p>1 地域懇談会の開催 第3期都筑区地域福祉保健計画推進に向けた地域での課題共有・解決を促進するため、全ての連合自治会町内会・地区社会福祉協議会エリアで地域懇談会を開催しました。 ・開催済地区：15 地区、参加者数 782 人</p> <p>2 地域福祉保健計画推進体制強化事業 地域福祉保健計画の推進を担う各関係機関をはじめとする関係者及び地域住民に対し、地域福祉保健計画の啓発を進めました。また、地域のつながりづくりや活動の担い手育成支援等のため、職員を対象とした研修を実施しました。</p> <p>3 地域福祉保健活動補助金 地域での活動や取組の支援を進めるため、「つづき あい基金」への補助を行いました。</p> <p>4 計画情報誌（つづき あい通信）の発行 各地域での地域福祉保健計画を推進する取組を掲載した情報誌「つづき あい通信」を発行し、情報共有の機会を提供しました。（6月、11月、2月、3回、各8,000部）</p> <p>5 都筑区地域福祉保健計画推進委員会等の運営 都筑区地域福祉保健計画推進委員会を開催し、第3期計画の推進やその方向性、地域の取組について、学識経験者や区民と意見交換をしました。 また、併せて地域福祉保健計画推進のために子ども・青少年分野、障害者分野、高齢者分野及び健康づくり分野における意見交換を行う場を開催し、地域の取組を支援しました。 ・都筑区地域福祉保健計画推進委員会：6月29日、3月4日 ・子ども・青少年分野についての意見交換（子ども・青少年部会）：7月27日、2月27日 ・都筑区自立支援協議会（障害者分野部会）：5月16日、11月12日 ・都筑区地域ケア会議（高齢者分野部会）：12月13日 ・「健康づくり施策の推進」検討会（健康づくり分野部会）：2月28日</p> <p>6 発表会の開催 地域福祉保健計画推進のための各地区の取組を共有する場として、発表会「つづき あいフォーラム」とパネル展を開催しました。 ・「つづき あいフォーラム」：2月16日、都筑公会堂、参加者数202人 ・「つづき あいパネル展」：2月14日～20日、区民ホール</p>			
主な増減	計画情報誌の発行に係る契約残による減		

5 保育所を拠点とした地域子育て支援事業 拡充	H30 予算額	H30 決算額	差引額
	354 万 1 千円	348 万 8 千円	5 万 3 千円
<p>1 園庭開放</p> <p>(1) おひさま広場 市立保育所が、子育て中の保護者にとって地域の身近な子育て支援機関となるよう、保育協力者を配置して園庭を開放し、園庭で子どもを遊ばせながら育児相談などができるようにしました。 (5園計 1,192 回実施、利用者数延べ 13,302 人、保育協力者数延べ 1,280 人)</p> <p>(2) 休日園庭開放 市立保育所の中川西保育園及び茅ヶ崎南保育園において、民生委員・児童委員など地域の協力者の見守りにより、毎月第 3 日曜日に園庭を開放しました。 (2園計 22 回実施、利用者数延べ 474 人、地域の協力者数延べ 56 人)</p> <p>2 給食体験 地域の親子が市立保育所の園児と一緒に給食を体験する場を設けました。また、市立保育所職員が保護者へ食事の仕方や作り方について助言しました。 (5園計 55 回実施、利用者数延べ 345 人)</p> <p>3 ほいくえん広場 市立保育所、認可保育所及び横浜保育室等が合同で、保育所の遊びの紹介や育児相談などを行いました。親子が参加しやすいように地域ごとに実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A エリア(東山田周辺)：2 月 26 日、東山田地域ケアプラザ、参加者数 226 人 (仲町台周辺)：11 月 15 日、仲町台地区センター、参加者数 288 人 ・ B エリア(北山田周辺)：1 月 16 日、北山田地区センター、参加者数 176 人 ・ C エリア(茅ヶ崎周辺)：7 月 18 日、都筑公会堂、参加者数 226 人 ・ D エリア(池辺町・川和町周辺)：11 月 1 日、都筑地区センター、参加者数 231 人 <p>4 積木交流 積木を使った遊びを通して、保育施設や幼稚園等における地域の子育て支援の充実を図り、「積木の都筑」を広めました。また、エリアごとに積木を活用した育児講座や交流などを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積木イベント：9 月 21 日、22 日、区民ホール、参加者数延べ 227 人、 市立保育所・民間保育所の交流、地域の親子対象 			

6 学校・家庭・地域連携推進事業	H30 予算額	H30 決算額	差引額
		230 万 7 千円	218 万 2 千円
<p>1 「トツキトウカYOKOHAMA」を活用した命の授業</p> <p>小学6年生を対象に、助産師や保健師による講義と保護者による詩集の朗読を通して、子どもの健やかな成長を願う保護者の気持ちや命の尊さを知り、自分や周りの人を大切にすることを育むため、学校や保護者等と協力して区内の全市立小学校（22校）で実施しました。（6月26日～3月8日、参加者数約2,400人）</p> <p>2 赤ちゃんふれあい体験事業</p> <p>中学生を対象に、乳幼児との触れ合いを通して、命の尊さを実感し、保護者への感謝の気持ちや子育てに対する意識を醸成するため、学校や地域の協力を得て、区内の全市立中学校（8校）で実施しました。（7月18日～8月21日、参加者数95人）</p> <p>3 学校・家庭・地域連携事業</p> <p>学校、家庭及び地域が連携し、青少年の健全育成等を図ることを目的とした活動に対し、各中学校区を単位として学校・家庭・地域連携事業補助金を交付しました。</p>			
主な増減	各事業で作成したリーフレットや封筒の契約残による減		

7 青少年健全育成事業	H30 予算額	H30 決算額	差引額
	267 万 3 千円	243 万 4 千円	23 万 9 千円

1 青少年指導員活動

地域における青少年の自主的活動や地域環境づくりを推進し、青少年の健全育成を図るために、青少年指導員の活動を支援しました。(委嘱人数 113 人)

(1) 第 26 期都筑区青少年指導員委嘱状伝達式(4 月 10 日、区役所会議室)

(2) 青少年支援者育成講座(研修会)(年 2 回)

- ・第 1 回「各地区の活動を知り、青少年指導員としての役割を考えよう」

- ：6 月 24 日、区役所会議室、参加者数 68 人

- ・第 2 回「今と昔の子ども、気をつけたいこと」

- ：1 月 20 日、区役所会議室、参加者数 72 人

(3) 青少年指導員活動費交付金及び地域活動助成補助金の各地区への交付

2 はあと de ボランティア

(1) はあと de ボランティア～中高生のための夏休みボランティア体験～

夏休み期間を利用して、中・高校生が、普段関わる機会が少ない年代や地域の皆様と交流し、体験を通じて学ぶことで、新しい自分との出会いや新たな発見ができるきっかけとするために、ボランティア体験事業を実施しました。また、施設や団体と連携して、中・高校生と地域をつなぐことによって、地域の大人にとっても、中・高校生に出会える場、新たな気づきの場を提供しました。(申込者数 257 人、体験先 142 プログラム)

さらに、中・高校生が、はあと de ボランティアの体験プログラムを自ら企画・運営する「STEP UP プログラム」を実施しました。

- ・小学生の自由研究の手伝い(バリアフリーマップ作成)

- ：8 月 3 日、北山田地区センター、参加者数 13 人

- ・小学生の自由研究の手伝い(竹を用いた工作)

- ：8 月 5 日、都筑民家園、参加者数 19 人

(2) はあと de ボランティア プレコース(小学校高学年向け)

より早い段階からの意識づけと対象者の拡充を目的に、中・高校生向け事業と連携して、小学生向け事業を実施しました。小学校 5・6 年生が、地域の大人や中・高校生と共に活動を体験する中で、将来ボランティア活動に関心をもつきっかけを提供しました。

(申込者数 67 人、体験先 24 プログラム)

【(1)(2) 共通スケジュール】

ア オリエンテーション：7 月 20 日～23 日、都筑多文化・青少年交流プラザ及び区内地区センター 4 館、6 回

イ ボランティア体験：7 月 25 日～8 月 24 日、区内各所(夏祭り、区内区民利用施設、保育所、高齢者施設、区内企業、コミュニティカフェ等)

ウ 振り返り・修了証授与：8 月 25 日、区役所会議室

3 つづきウォーク&フェスタ

緑道や公園等の区の魅力の発見や、青少年を含む参加者の世代を超えた交流、健康増進を目的とした「つづきウォーク&フェスタ」の開催を支援し、地域のつながりを活用した青少年育成と健康づくりに取り組みました。また、フェスタについては、「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018」区連携事業として実施しました。

- ・つづきウォーク&フェスタ実行委員会：6月4日、8月30日、10月23日、2月1日、都筑区民活動センター
- ・つづきウォーク&フェスタ：11月23日、すきっぷ広場及び区内各所、ウォーク参加者数456人、フェスタ観覧者数約1,500人、中学生ボランティア34人（区内中学校7校）

主な増減	青少年指導員活動について、指導員の欠員による青少年指導員活動費交付金の減
------	--------------------------------------

	H30 予算額	H30 決算額	差引額
8 障害者交流啓発事業	105 万円	105 万円	0 円
<p>1 福祉農園事業 障害児・者等が、さつまいもの苗植えから収穫までを体験していただく事業を支援しました。収穫に併せて、舞台上でアトラクションや模擬店等を実施し、障害児・者との交流を一層促進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫イベント：10月21日、JA横浜きた総合センター隣接農地及びグラウンド、参加者数約5,000人 <p>2 障害者地域啓発事業 区民まつり等において、障害児・者が参加しやすい環境をつくることにより、交流の機会を増やすための事業を支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民まつり：11月3日、区役所前広場、参加団体数8団体 <p>3 障害者地域作業所支援事業 多くの区民の皆様は障害者の活動を理解していただき、障害者の社会参加につなげるため、区民ホール、駅構内、商業施設等における各地域作業所の自主製品の販売活動を支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例販売の実施：区民ホール・センター南駅・センター北駅 			

施策2 活力とにぎわいあふれるまちづくり

9 つづき“縁”ジン事業 ～人づくり・つながりづくり・ 女性が輝くまちづくり～ 重点 拡充	H30 予算額	H30 決算額	差引額
	264万8千円	249万5千円	15万3千円

1 はじめる（個人支援）

（1）大人の学級

個人の学びを支援し地域へつなげるため、特定のテーマの学級を開催しました。

- ・50歳以上の女性のための講座「これからのわたしを支える5つのS」
：8月27日～9月10日、全5回、参加者数20人
- ・40～60代のための講座「地域デビュープランナーになりませんか？」
：11月17日～1月19日、全6回、参加者数7人

（2）輝く女性応援プロジェクト

「女性が住みやすく、活躍できるまち」となるよう、輝く女性を支援するための講座等を開催しました。

- ・「そろそろ本気の“わたし”始動！2018」講座
：5月31日～6月21日、全4回、参加者数31人
- ・「第3回WOMEN'S MEET UP FES in 都筑」：2月～3月、参加者数約300人

（3）地域の読書活動推進事業

読書活動を推進するため、本の修理に関わることができる人材を育成しました。都筑区読書活動推進目標に基づき関係機関と意見交換を実施しました。

- ・「本の修理ボランティア ステップアップ編」
：9月27日～10月11日、全3回、参加者数15人
- ・「区民利用施設の図書修理」
：区民活動センター、毎月第4木曜日及び区内区民利用施設、概ね月1回
- ・市民団体や図書館、地区センター等と読書活動の推進に関する意見交換
：3月6日、参加者数20人

（4）区民活動センター利用促進事業（試行実施）

区民活動センターの開館時間延長を試行実施し、日中利用できない区民への夜間の利用機会を提供しました。（5月1日～9月27日、毎週火・木曜日、17～21時、開館日数43日、利用者数延べ464人）

2 つながる（個人から団体へ）

（1）広報紙 きっかけマガジン「つづき“縁”ジン」の発行

市民活動・生涯学習をはじめのきっかけを提供するためのツールとして、広報紙を発行しました。（7月、10月、1月、4月、年4回、各6,000～7,000部）

(2) 区内の区民利用施設情報交換会

区内施設の研修会及び情報交換会を行い、ネットワークの強化を図りました。(対象施設：地区センター、コミュニティハウス、地域ケアプラザ、子育て支援施設、古民家、コミュニティカフェ(民間)等、年2回)

- ・区民利用施設研修会「やる気になる! させる! 場づくりのコツ」
: 6月11日、参加団体数13団体30人
- ・区民利用施設情報交換会: 11月19日、参加団体数18団体25人

3 ささえる(団体支援)

(1) つづき^{ひと}交流フェスタ

区内の市民活動団体・グループによる活動内容の発表及び区民が活動を始めるためのきっかけづくりのためのイベントを実施しました。

- ・パネル展: 3月22日~28日、区民ホール
- ・市民活動団体への1日活動体験: 3月1日~28日、23回、参加者数67人
- ・ワークショップ: 3月23日~24日、参加者数304人
- ・交流カフェ: 3月23日~24日、参加者数25人

(2) 縁ジンミーティング

登録団体へ向け、活動内容のレベルに応じて必要な知識やノウハウについて講座を実施し団体同士での交流を図りました。

- ・講座: 6月9日 参加者数14人、7月12日6人、9月29日24人、
12月17日30人、1月15日21人、計5回

(3) 区民活動補助金

区民活動団体が自主的かつ主体的に行う公益性の高い事業について審査のうえ補助を実施しました。(交付数9団体)

(4) 市民活動・生涯学習合同成果発表会

区民活動補助金交付団体と輝く女性応援プロジェクト委託団体の活動成果を発表しました。(3月23日、参加者数30人)

主な増減	広報紙つづき“縁”ジン発行に係る印刷製本費及びデザイン委託の契約残による減
------	---------------------------------------

10 メイドインつづき推進事業 重点	H30 予算額	H30 決算額	差引額
		498 万 3 千円	469 万 2 千円
<p>1 展示会出展等支援</p> <p>神奈川県内最大級の工業技術・製品の総合見本市である「テクニカルショウヨコハマ」への出展支援のほか、都筑区ブース専属コーディネーターの配置や企業紹介冊子の作成等を行い、中小製造業の販路拡大を推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テクニカルショウヨコハマ 2019：2月6日～8日、パシフィコ横浜、出店企業数 33 社 ・企業紹介冊子の作成：1月、2,400 部 ・企業向けセミナーの開催：8月22日、9月14日、区役所会議室、参加者数各 11 人 <p>2 地産地消の推進</p> <p>地域の中での地産地消の取組を支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都筑野菜朝市：定期開催（計 16 回）都筑区役所、月 2 回（第 2・4 土曜日） 拡大開催（計 7 回） I K E A 港北、6 月及び 11 月の日曜日 ・都筑野菜 P R として拡大朝市にてエコバッグの配布：約 850 枚 ・食育セミナー：11 月、 I K E A 港北、参加者数約 60 人 ・区内小学校への地産地消に係る出張授業：11 月、2 校 ・タウンニュース（都筑区版）にて区役所朝市の P R と出店者募集：10 月 11 日 ・都筑野菜マルシェセット※の貸出：6 件 ※直売等に活用できる、のぼり旗、エプロン、簡易テント、テーブル、野菜結束テープ ・リーフレットやステッカーなどの P R ツールを活用した都筑野菜の P R <p>3 事業 P R イベントの実施</p> <p>区内企業と連携し、子どもたちがものづくりを体験できるイベントや区内企業の活動紹介を行う動画の制作等を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メイドインつづき企業紹介パネル展 ：7月26日～8月2日、区民ホール、展示企業数 35 社 ・「夏休み！つづき・ものづくり体験！」 ：8月18日、港北みなも、来場者数約 400 人（ものづくり体験ワークショップ参加児童数：延べ 205 人）、協力企業数 15 社 			
主な増減	展示会出展支援事業における企業紹介冊子の原稿作成及びデザイン委託の契約残による減		

11 国際交流・多文化共生事業 ～第7回アフリカ開発会議横浜開催で 広がるアフリカ交流～ 重点 拡充	H30 予算額	H30 決算額	差引額
	140 万円	139 万 5 千円	5 千円

1 都筑多文化・青少年交流プラザ事業

外国人への情報提供や多文化交流、青少年の地域活動及び区民活動の場を提供するため、「都筑多文化・青少年交流プラザ」に以下の事業の運営を委託しました。

(1) 国際交流・外国人支援事業

外国人のための生活情報提供や外国人支援ボランティアの養成、交流や国際理解の促進のためのイベント、ボツワナ共和国をはじめとするアフリカ交流事業を実施しました。

- ・多言語による情報提供や生活相談 : 通年
- ・第5回都筑・ボツワナ交流児童画展 : 11月～3月
- ・国際交流イベント プラザまつり : 3月10日

(2) 市民活動支援

日本語ボランティアを担う、市民活動団体・グループ等に活動場所を提供しました。

- ・外国人のための日本語教室 : 週2回程度
- ・日本語ボランティア養成講座 : 10月17日～19日、3回

2 第7回アフリカ開発会議横浜開催機運醸成事業

都筑多文化・青少年交流プラザ（つづきMYプラザ）や国際局、ボツワナ共和国大使館等と連携しながら、アフリカの芸術や食文化の体験事業を実施しました。

また、第7回アフリカ開発会議横浜開催をPRするとともに、アフリカとの一校一国運動を実施する区内小学校とも連携し、開催に向けた機運を高めました。

- ・国際理解教室 : 7月6日、茅ヶ崎小学校
- ・都筑国際理解教室～食料事情でアフリカを知る！～
: 10月23日、中央大学附属横浜高等学校、参加者数約320人
- ・African Dreams through Waving Flag (ダンス披露)
: 11月3日、すきっぷ広場、参加者数54人
- ・動物フィギュア「アニア」との連携プロモーション
: 11月、2月、つづきっ子ランド等区内6公共施設、区内商業施設
- ・食を通して知る、アフリカの魅力 : 11月11日、つづきMYプラザ、参加者数約35人
- ・都筑・ボツワナ交流児童画展PR動画の放映
: 12月20日、区民ホール、JICA横浜等

12 未来につなぐオリンピック・パラリンピック事業 重点	H30 予算額	H30 決算額	差引額
	70 万円	69 万 8 千円	2 千円

1 国際理解講座の開催

東京 2020 大会の前年に開催されるラグビーワールドカップ 2019™の盛り上がりを生かし、相乗的に 2 大会の機運醸成を図り、区民の関心を高める国際理解講座を開催しました。

平成 30 年度の講座では、29 年度の講座参加者に企画段階から参画していただき、その検討内容を踏まえ、ボランティアについて外国籍市民を交えたディスカッションを行いました。都筑区の豊富な人材を生かしながら、大会終了後も継続的なボランティア活動につながるよう、講座を通じてボランティアについて考えるとともに、その育成を行いました。

・「グローバル人材と人間力 ～信頼されるボランティアを目指して～」講座

：8月7日～9日、都筑多文化・青少年交流プラザ、参加者数 53 人

(1) 8月7日「パラリンピックの魅力を知る」、

講師 田中 暢子 教授 桐蔭横浜大学 スポーツ健康政策学部

(2) 8月8日「スポーツボランティアを知る」

講師 宇佐美 彰朗 理事長

日本スポーツボランティア・アソシエーション

ゲスト マリア イザベル 氏

日本代表男子ビーチバレー テクニカルディレクター

(3) 8月9日「本物の笑顔を知る」

講師 小笹 陽子 氏 イメージアップコンサルタント

「参加する喜びを知る」(座談会)

ゲスト 外国籍市民、国際審判員、

スポーツの国際大会のボランティア経験者

・講座受講者が横浜シーサイドトライアスロン大会のボランティアに参加

：9月30日、八景島シーパラダイス金沢工業団地周辺、参加者数 21 人

2 都筑×英国文化交流講座の開催

東京 2020 大会を契機として都筑区と英国の交流を深めるため、日本と英国のお互いの文化を体験しながら国際交流を行いました。講座での交流を通して、2020 年のホストタウンとしてのおもてなしについて考える取組を行いました。

なお、講座の開催にあたっては都筑多文化・青少年交流プラザと連携して実施しました。

・「日本とイギリス文化の融合 ～コッツウォルズストーンと苔玉づくり～」講座

：10月14日、都筑民家園、参加者数日本人 32 人、外国人 14 人

苔玉づくり講師 岸 聡志 氏 英国伝統石積認定資格取得者、(株)貝塚造園

ボタニカルアート講師 平井 尚子 氏 植物画家

茶の湯講師 横山 見 氏 表千家 教授

13 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	H30 予算額	H30 決算額	差引額
	60 万円	49 万 3 千円	10 万 7 千円
<p>1 地元応援イベントの実施</p> <p>横浜ビー・コルセアーズと地域の文化・芸術団体など地域の皆様と連携し、横浜国際プールや区内施設において、スポーツと文化・芸術の融合をテーマとした活動の成果を披露するとともにイベントを開催し、地元ファン層の拡大を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開幕カウントダウンボード設置：8月6日～10月20日、区民ホール <ul style="list-style-type: none"> E a r l y C U P 9月7日～9日開催、8月6日～9月7日 Bリーグ 10月6日開幕、9月8日～10月6日 国際プール 10月20日初戦、10月7日～10月20日 ・パネル展示：9月25日～10月1日、区民ホール ・市営地下鉄駅構内での応援ソング「We are B-CORSAIRS」の放送：10月～3月、市営地下鉄グリーンライン北山田駅 ・ビーコルバスケットボール教室：2月17日、東山田中学校体育館、参加者数 区内中学校（10校）のバスケットボール部員 50人 ・広報よこはま都筑区版での紹介：3月 <p>2 都筑区応援 d a y の実施</p> <p>横浜ビー・コルセアーズの本拠地である横浜国際プールでの試合日の中で、区民の皆様に試合観戦を呼びかける都筑区応援 d a y を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Dance Dance Dance@YOKOHAMA2018」の開催年度に合わせ、都筑区内にあるバレエ教室と連携した創作バレエダンスのお披露目：10月20日 <p>3 商店街との連携支援</p> <p>横浜ビー・コルセアーズと商店街との連携企画、イベントの広報協力を行うことで、チームと商店街の連携を引き続き支援し、地域に根差すチーム作りと地元プロスポーツに関わる人々の増加を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都筑区商店街連合会×横浜ビー・コルセアーズ×都筑区役所 連携イベント：3月23日、24日 			
主な増減	地元応援イベントについて、実施手法を変更したことによる印刷製本費の減		

14 「図説 都筑の歴史」編さん事業 拡充	H30 予算額	H30 決算額	増△減
		300 万円	300 万円

1 編さん委員会の支援

平成 29 年度に引き続き、有識者や区民団体代表などの協力を得ながら、写真や資料の収集及び原稿案の作成を行いました。

また、「図説 都筑の歴史」全体のレイアウト編集・校正を支援しました。

- ・「図説 都筑の歴史」編さん委員会（第 12 回～19 回）：5 月 29 日、7 月 17 日、9 月 11 日、10 月 23 日、11 月 30 日、12 月 21 日、2 月 12 日、3 月 19 日

2 刊行イベント等による広報・周知

(1) 都筑の歴史講演会の開催

刊行に向けた機運を高めるため、都筑図書館及び横浜市歴史博物館と連携し、「図説 都筑の歴史」に掲載する都筑区の歴史や文化に関する講演会や紹介パネル展を開催しました。

- ・第 4 回郷土史講演会「明治維新以後の都筑」及びパネル展
：9 月 29 日、横浜市歴史博物館講堂、参加者数 142 人
- ・第 5 回郷土史講演会「港北ニュータウンの成り立ちから見た現在」及びパネル展
：2 月 23 日、横浜市歴史博物館講堂、参加者数 177 人

(2) 区民活動団体や区民利用施設との連携開催

地域と一体となって刊行に向けた機運を高めるため、区民活動団体や区内区民利用施設等と連携し、刊行イベント等により周知・広報を行いました。

- ・タウンニュース（都筑区版）への広報記事掲載による周知 : 4 月 19 日
- ・刊行イベント「川和の今と昔」（主催：つづきナビ倶楽部）：5 月 2 日
- ・講演会「印融法師ゆかりの地」（主催：横浜市歴史博物館他）：7 月 21 日

15 自治会・町内会支援事業 拡充	H30 予算額	H30 決算額	差引額
		258 万 6 千円	254 万 9 千円

<p>1 自治会町内会長感謝会 自治会町内会長感謝会を開催し、永年にわたり尽力された会長に対し、感謝状・表彰状を贈呈し感謝の意を表しました。（2月28日、都筑区役所6階大会議室及び食堂、被表彰者数11人、参加者数77人）</p> <p>2 自治会町内会への情報提供 区連会資料を、8月を除く毎月、各自治会町内会あてに配送しました。（毎月167か所）</p> <p>3 自治会町内会加入促進 戸籍課にて転入者に自治会町内会への加入促進リーフレット等の資料を配布しました。さらに、区内各駅や区民利用施設においても同リーフレットを500部配布しました。 10月を自治会町内会加入促進月間に定め、班長・組長から未加入世帯への呼びかけを行いました。あわせて、加入促進モデル地区事業として2単位町内会を選定し、区民が訪れるイベントでの加入を呼びかけました。</p> <p>4 マンション自治会設立支援 自治会未設立の大規模マンションを対象とした自治会町内会設立に向けた機運向上につながる講演会（都筑コミュニティ講座）を実施しました。（3月31日、参加者数13世帯）</p>

16 文化活動支援・スポーツ振興事業	H30 予算額	H30 決算額	差引額
	297 万 8 千円	287 万 8 千円	10 万円

1 都筑区民文化祭事業

区民による区民のための手作りの文化祭の開催を支援し、世代を超えて都筑の文化を創りました。また、平成 30 年度は「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018」の開催年であったため、「チアダンス」をテーマとしたダンスイベントの開催を支援しました。

(1) 第 23 回都筑区民文化祭

文化活動の成果発表の場、文化を通じた交流の場及び気軽に文化に触れる場を区民の皆様提供しました。(1月19日～2月3日)

- ・キャッチフレーズ「都筑の未来へ 七色のかけ橋」
- ・展示部門：区民ホール、出展者数 279 人
- ・舞台部門：都筑公会堂、出演者数 46 団体、886 人

(2) 「Let's GO TSUZUKI CHEERDAN! PROJECT」

「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018」区連携事業として、チアダンスワークショップを開催し、都筑区民まつりや横浜ビー・コルセアーズのホーム戦等でお披露目しました。

- ・ワークショップの開催
：8月4日～10月13日、夏祭り会場等、計6回、参加者数155人
- ・お披露目
：11月3日、区民まつり会場 すきっぷ広場、参加者数約290人、
11月18日、ららぽーと横浜、約280人、
11月24日、横浜ビー・コルセアーズ試合会場 横浜国際プール、約240人

2 スポーツ推進委員連絡協議会事業

地域におけるスポーツの普及活動を推進し、区民の皆様の健康向上や余暇時間の質の向上を図るため、補助金を交付するなど、スポーツ推進委員の活動を支援しました。

3 体育協会活動補助事業

都筑区体育協会が行う各種目別の区民大会の開催や情報提供等を行うとともに、補助金を交付するなど、活動の支援を行いました。

4 都筑ふれあい健康マラソン大会事業

都筑区の魅力である自然豊かな緑道をコースとし、親子でも楽しめるマラソン大会の開催を支援することで、区民の皆様のスポーツ振興と健康増進、世代間の交流を図りました。

- ・都筑ふれあい健康マラソン大会
：3月3日、完走者848組1,108人

5 都筑スポーツ・文化賞事業

スポーツ・文化の分野においてめざましい活躍、顕著な功績のあった都筑区にゆかりのある皆様を表彰し、さらなる活躍を期待するとともに、区民の皆様のスポーツ・文化活動への関心を高めました。(1月6日、都筑区新年賀詞交換会会場、被表彰者数11人、被表彰団体数1団体)

主な増減	スポーツ推進委員連絡協議会事業における、推進委員の欠員によるスポーツ推進委員連絡協議会活動補助金の減
------	----------------------------------------------------

17 街のにぎわいづくり事業	H30 予算額	H30 決算額	差引額
		448 万円	444 万 6 千円

1 都筑区民まつり

区民の皆様にご地域に対する愛着やふるさと意識を醸成していただけるよう「第24回都筑区民まつり」を開催しました。(11月3日、来場者数約20万人)

2 都筑・ドイツ交流イベント事業

センター北駅前の芝生広場を会場に、ドイツの冬の風物詩であるクリスマスマーケットを都筑・ドイツ交流イベント実行委員会とともに開催しました。(12月8日、9日、来場者数約2万2千人、出店舗数20店舗)

特別企画として、メイドインつづき参画企業と協賛ドイツ企業のファブリックパネルを展示する「ものづくりがつなげるつづきとドイツ」を実施しました。

3 商店街魅力発信事業

「都筑区商店街魅力発信ワーキング」を毎月行い、都筑区商店街連合会とともに商店街の魅力を区民に伝える取組を実施しました。「商店街からのラブレター事業」を継続して実施し、プロスポーツチーム等の都筑区の魅力資源と連携することで、より効果的に区民の皆様と区内商店のつながりを創出しました。

- ・都筑区商店街魅力発信ワーキング：4月～3月、月1回
- ・商店街からのラブレター事業：プレゼント抽選、年6回、応募数67件
- ・都筑区商店街紹介パネル展：7月19日～25日、区民ホール

施策3 安心して暮らせるまちづくり

18 災害にそなえる自助・共助の推進事業 重点	H30 予算額	H30 決算額	差引額
		193万5千円	195万1千円

1 地域防災拠点運営委員会の支援

地域防災拠点運営委員を対象として、地域防災拠点の開設・運営などに関する研修会を開催するとともに、地域防災拠点における訓練を支援しました。

- ・地域防災拠点運営委員会連絡協議会：5月17日、参加者数38人
- ・地域防災拠点運営委員向け研修会：第1回 6月10日、参加者数32人
第2回 7月8日、参加者数20人
第3回 1月26日、参加者数30人
- ・各地域防災拠点で実施された訓練の支援：27拠点、参加者数計5,787人

2 災害時要援護者支援事業（つづき そなえ）

取組を実施する地域に対して災害時要援護者名簿を提供しました。また、連合自治会町内会に対し補助金を交付し、地域の実情に合った支援体制づくりを積極的に支援しました。

- ・補助金交付地区：14地区
- ・名簿提供地区：連合町内会自治会 3地区、単自治会町内会 1地区

3 防災・減災講演会の開催

大規模地震や風水害への備えなどについて市民を対象とした講演会を開催し、防災・減災に関する意識啓発を図りました。（2月18日、ハウスクエア横浜、参加者数226人、講師 斉田 季実治 氏 気象予報士、防災士、危機管理士）

4 鶴見川水系水害に関する連絡会の開催

区内を流れる鶴見川水系の流域にお住まいの地域の方とともに、地域の現状や課題、発災時に備えた取組などについて意見交換を行い、地域と一体となって水害対策に関する取組を進めました。（計2回、参加者数34人）

5 補充的避難所活用事業

多数の避難者で避難所のスペースが不足した場合や避難所が機能不能時に代替施設となる補充的避難所について、地域防災拠点に準じた円滑な開設・運営ができるよう地域への支援を行いました。

6 災害時に役立つ健康づくり事業

災害時の食の備蓄の大切さとともに、特に配慮が必要な方への備えの重要性について「食育フェア」や「区民まつり」、赤ちゃん会や老人会等の機会を捉え啓発しました。また、災害時の健康保持に必要な正しい手洗いや口腔ケアの普及啓発を併せて実施しました。（手洗いシール1,000枚、口腔ケアチラシ1,200枚）

7 災害時のペット対策事業

各地域防災拠点訓練等で、「災害時のペット対策」についての啓発・支援を行いました。

- ・地域防災拠点訓練での啓発（22 拠点）
- ・地域防災拠点運営委員向け研修会での説明：第2回 7月8日

19 危機管理対策推進事業	H30 予算額	H30 決算額	差引額
	500 万 5 千円	523 万 9 千円	△23 万 4 千円

1 関係機関と連携した災害対応力の向上

(1) 「災害対策連絡協議会」や「帰宅困難者対策部会」を開催し、警察署等の関係機関・団体と情報共有や意見交換を行いました。

- ・災害対策連絡協議会：5月11日、参加機関数 44

(2) 「地域医療・保健体制に関する都筑区危機管理対策協議会」や「災害医療連絡会議」を開催し、区医師会等の関係機関・団体と災害医療に関する情報共有や意見交換を行いました。

- ・地域医療・保健体制に関する都筑区危機管理対策協議会：6月29日、参加機関数 7
- ・災害医療連絡会議：10月11日、参加機関数 9

(3) 警察署及び消防署等と実施する水防訓練や、区医師会等と実施する災害医療対策訓練及び交通事業者や帰宅困難者一時滞在施設等と実施する帰宅困難者対策訓練等を通じて、関係機関・団体との更なる連携強化を図りました。

- ・鶴見川水防訓練：6月17日、池辺町川内自治会エリア一帯、鶴見川鴨池橋下河川敷
参加者：川内自治会、都筑消防団、横浜市消防局（消防局特別高度救助部隊、都筑消防署）、横浜建設業協会都筑区会、都筑警察署、都筑区役所、132人

- ・災害医療対策訓練：11月10日、都筑区役所等
参加者：都筑区医師会、昭和大学横浜市北部病院、都筑区薬剤師会、つづき病院、都筑区訪問看護連絡会、横浜市災害支援Yナース、都筑区歯科医師会、都筑警察署、都筑消防署、都筑区役所、94人

- ・帰宅困難者対策訓練：12月7日 市営地下鉄中川駅、中川西地区センター
参加者：帰宅困難者一時滞在施設（11施設）、東急バス、横浜市交通局、横浜市中川地域ケアプラザ、都筑警察署、都筑消防署、都筑区役所、62人

- ・テロを想定した特殊災害対応合同訓練（主催：都筑消防署）：1月29日、横浜国際プール
参加者：横浜国際プール、警察機関（都筑警察署、神奈川県警察本部爆発物処理隊）、都筑消防団、横浜市消防局（都筑消防署、警防部警防課機動特殊災害対応隊）、都筑区役所、100人

(4) 区災害対策本部運営訓練を実施することで、区職員の災害対応力を向上させ、区本部体制の強化を図りました。

- ・区災害対策本部運営訓練：9月7日（風水害想定）、1月18日（地震想定）

2 防災啓発事業の実施

発災時に迅速かつ的確な避難行動を取っていただくために、防災・生活マップを区民の方へ配布し、日頃から避難所の位置や避難行動について理解を深めていただけるように、災害対策について啓発を図りました。

- ・防災・生活マップの増刷：18,000部
- ・洪水ハザードマップの増刷：2,000部

3 区本部体制の維持・管理

区本部運営に必要な備蓄品や通信機器等の維持管理、整備を行いました。

- ・ 備蓄食料の整備
- ・ 防災用スピーカーの修繕

4 緊急時情報伝達システムの運用

災害発生時又は災害発生が見込まれる際に、区内の自治会・町内会長等へ避難情報等を一斉に電話で知らせるシステムを使用し、引き続き、災害発生時に迅速かつ的確に情報を伝達するために定期的な訓練発信を行うとともに、登録者数の増加を図りました。

- ・ 受伝達訓練：6月5日
- ・ 災害発信：7月28日（即時避難勧告対象区域への避難準備・高齢者等避難開始）
9月30日（即時避難勧告対象区域への避難準備・高齢者等避難開始）
- ・ 登録者数：125人（平成30年4月1日時点）→136人（平成31年3月31日時点）

主な増減	防災用スピーカーの修繕費の増
------	----------------

20 安全・安心なまちづくり事業	H30 予算額	H30 決算額	差引額
		974 万 6 千円	972 万 7 千円

1 地域防犯活動推進事業

地域防犯活動を行う自治会町内会及び地域の自主防犯のための青色回転灯パトロール隊に対し助成金を交付するとともに、研修会を行うなど活動を支援しました。

- ・防犯活動助成金：110 団体、42 台
- ・防犯活動研修会、青色回転灯自主パトロール隊員講習会
：7月23日、参加者数延べ102人

2 消費生活推進事業

横浜市消費生活推進員の地区活動（悪質商法に関する研修会、啓発活動、リサイクル活動等）を支援する助成金を交付しました。（15 地区）

3 交通安全運動

都筑区交通安全対策協議会を中心に、都筑警察署等関係団体と連携しながら交通安全運動を実施しました。さらに、年間を通して、日々の交通安全運動に貢献された皆様に顕彰しました。（2月22日、個人の部11人、団体の部4団体）

また、子どもたちの安全・安心のため、学校や警察、土木事務所と連携し、スクールゾーン標示の整備や交通安全啓発等を実施し、各小学校のスクールゾーン・防犯対策協議会の支援を行いました。

- ・補助金支援：区内小学校22校
- ・スクールゾーン・防犯対策協議会への支援：23校
（区内小学校22校、新吉田第二小学校）
- ・はまっ子交通安全教室：5月～6月、7校

4 放置自転車対策事業

自転車等放置禁止区域（センター南、センター北、仲町台、ふれあいの丘、北山田、東山田、中川、川和町、鴨居の各駅周辺）において適切な自転車利用を行うよう、監視指導を行う監視員を配置しました。（年間564回、延べ1,128人）

21 食と暮らしの安全推進事業 拡充	H30 予算額	H30 決算額	差引額
		56万8千円	57万円

1 食の安全確保事業

(1) 食品取扱施設の衛生確保事業

横浜市食品衛生監視指導計画に基づく食品取扱施設への監視指導を、効果的・効率的に実施するとともに、高齢者ボランティア給食やこども食堂を対象に、拭取り検査を併用した衛生指導を実施しました。

- ・拭取り検査を併用した衛生指導

：6月、小学校給食施設 22 か所、
10月～3月、社会福祉関連給食施設 55 か所

(2) 食の安全に関する情報発信事業

食品衛生パネル展の実施や、出前講座の対象を地域活動の担い手や消費者に拡大することにより、食中毒予防に関する情報発信を強化しました。

- ・食品衛生講習会：5月～3月、17回、参加者数 1,107 人、食生活改善推進員・食事ボランティア従事者・食品衛生責任者・社会福祉施設感染症担当者対象
- ・パネル展：6月～11月、5回、区民ホール・区役所2階絵画前PRスペース・モザイクモール港北

2 暮らしの衛生確保事業

区民生活における猫・ネズミ・ハチなどの被害に対する支援として、被害防止器具の貸出しなどを実施しました。

- ・猫侵入防止器の貸出：9件
- ・ねずみ捕獲器の貸出：4件
- ・ハチの巣駆除機器の貸出：20件

3 動物適正飼育推進事業

動物愛護週間に長寿ペット表彰を実施するとともに、区民まつり、狂犬病予防注射出張会場において、ペットのマナー及び飼育などに関する啓発を実施しました。

- ・狂犬病予防注射会場での啓発チラシ配布：4月、800部
- ・長寿ペット表彰、パネル展示：9月25日～10月1日、区民ホール
- ・区民まつり会場での啓発：11月3日

施策 4 豊かな環境をいかしたまちづくり

22 つづき水と緑の魅力アップ推進事業 重点	H30 予算額	H30 決算額	差引額
		221 万 8 千円	186 万円
<p>1 緑アップ推進</p> <p>(1) 緑地の保全及び農地の活用 区内に2か所ある市民の森（池辺・川和）のPRに取り組みました。 ・タウンニュース（都筑区版）でのPR：10月4日、11月8日</p> <p>(2) 都筑区花いっぱい運動の拡充展開</p> <p>ア 区内緑化推進 「都筑区花いっぱい運動」に引き続き取り組み、区内農家と連携し、農業専用地区内の沿道をチューリップで彩る取組を実施しました。 ・都筑区内公園とみどり（植物）の楽しみ方講演会：11月17日、ハウスクエア横浜、参加者数16人 ※ガーデンネックレス横浜2018連携事業 ・農専地区内の沿道をチューリップで彩る取組：協力農家10軒、配付球根6,000球</p> <p>イ 「早淵川・老馬谷ガーデン（HRG）」の維持・管理 地域及び東京都市大学と連携し、早淵川沿いの緑の拠点であるHRGの維持・管理に引き続き取り組みました。 また、HRGの魅力アップにつながるイベント、担い手の負荷軽減等につながる委託を実施しました。 ・花束づくりイベント：4月22日、参加者数29人 ・中川ふれあいフェスタにおけるパネル展示によるPR：5月26日、中川駅前みんなの広場 ・造園整備（草刈等）委託：5月31日、8月22日</p> <p>2 都筑区水と緑の散策マップの活用 都筑区水と緑の散策マップの販売促進PRを行うとともに、今後もマップを最新の内容に更新していただけるよう情報・意見を収集しました。</p>			
主な増減	早淵川・老馬谷ガーデン事業における、造園整備委託の契約残等による減		

23 環境にやさしいまち推進事業	H30 予算額	H30 決算額	差引額
	315 万 2 千円	293 万 4 千円	21 万 8 千円

1 都筑区温暖化対策・3R夢推進会議

温暖化対策・3R夢の推進に関する情報を共有する会議を行いました。(5月22日)

2 温暖化対策推進事業

(1) 次世代自動車活用・普及啓発

区公用車として導入した次世代自動車(電気自動車、燃料電池自動車)を活用し、各種イベント等でのPRや区内事業者への普及啓発を実施しました。

- ・地域の夏祭り：7月29日、荏田東第一小学校
- ・区民まつり：11月3日

(2) つづきエコ活啓発

区民の皆様一人ひとりが実践しやすい温暖化対策の取組をPRするため、局と連携しながら普及啓発イベントを開催しました。

- ・環境講座：9月22日、区役所6階大会議室、参加者数80人
- ・区民まつり：11月3日

(3) 緑のカーテン事業

区庁舎の緑のカーテンの維持管理及び区内小・中学校(11校)への育成支援を行いました。

3 クリーン・ヨコハマ3R夢推進事業

(1) クリーン推進事業

きれいな街を推進するため、自治会町内会等が実施する地域清掃の支援、美化推進重点地区の定期清掃、駅周辺のポイ捨て防止啓発、不法投棄防止対策、農業専用地区の一斉清掃などを行いました。

- ・美化推進重点地区の定期清掃：センター北駅47日、センター南駅71日
- ・清掃ごみ袋の配付による地域清掃の支援：93団体
- ・ポイ捨て防止啓発：8月

(2) ヨコハマ3R夢推進事業

3R行動を推進するため、ごみの分別の徹底や食品ロス削減のための啓発物品を作成し、イベントでPRするほか、東京都市大学と連携した環境講座や、赤ちゃん会での啓発、小学校等を対象としたリユース図書の配付などを行いました。

- ・つづき3R夢パネル展、イベント：5月25日～29日、10月5日～9日
- ・リユース図書の配付：約1,200冊、区内18小学校、区内5保育園
- ・東京都市大学と連携した環境講座「ミライの食」：2月21日、東京都市大学、参加者数360人

(3) クリーン・3R夢功労者表彰

街の美化や3R行動の啓発の取組が顕著だった団体・個人を表彰しました。

(5月22日、3団体、10個人)

主な増減	クリーン推進事業及びヨコハマ3R夢推進事業における啓発物品購入数を精査したことによる消耗品費の減
------	--------------------------------------------------

24 まちづくり総合調整事業	H30 予算額	H30 決算額	差引額
	528 万円	318 万 7 千円	209 万 3 千円

1 企画調整・情報収集提供

(1) 東京都市大学との連携

地域課題に関する意見交換会（地域連携協力会議）、学生による地域についての研究発表会（地域連携調査研究発表会）、横浜キャンパスの学生を対象とした都筑区インターンシップ等を行いました。

また、留学生が地域に入るきっかけづくりとして、出身国・出身地域の暮らしや環境を紹介する「都市大留学生カフェ」を開催しました。

- ・地域連携協力会議：5月15日、東京都市大学横浜キャンパス
- ・地域連携調査研究発表会：2月27日、都筑区役所
- ・インターンシップの実施：8月～9月、受入数4人
- ・都市大留学生カフェ：7月11日、11月7日、1月11日、ほっとカフェ中川

(2) その他企業との連携

企業による学校出前講座（つづき博士倶楽部）や区内企業との情報交換を行いました。

- ・立地企業情報交換会：7月6日、都筑区役所

2 地域まちづくり推進

(1) 地域主体のまちづくりの推進

地域の実情に応じたルールづくりやまちづくりの普及・啓発活動、まちづくりグループへの支援を行いました。

(2) タウンセンター周辺地区の活性化

タウンセンター周辺地区の活性化に向けた検討及び取組支援を行いました。

3 まちの課題解決

(1) 外出利便性向上に向けた方策

「都田・池辺地区ボランティアバス」を地域とともに実証運行を行いながら、実証運行期間終了後の運営体制・手法や運行ルート等の検討を行いました。

- ・ボランティアバス協議会：概ね毎月1回、区役所会議室、計10回
- ・ボランティアスタッフ合同会議：7月13日、東方町内会館

(2) バス路線利用促進に向けた周知PR

横浜市生活交通バス路線の利用促進PRの取組を進めました。

- ・生活交通バス路線の周知用ポスターをバス車内や自治会町内会の掲示板に掲示
- ・318系統バスの利用促進ポスターの作成：92部、沿線マップの作成：9,000部

(3) まちの課題解決事業

地域のつどい等で把握できた課題について、緊急性や実現可能性等を考慮しながら取組・検討を実施しました。

主な増減	局の支援により都田・池辺地区ボランティアバス実証運行を実施したこと等による委託料の減
------	--------------------------------------------

25 ハマロード・サポーター、 公園・緑道愛護会活動推進事業 拡充	H30 予算額	H30 決算額	差引額
	202 万 3 千円	191 万 5 千円	10 万 8 千円
<p>1 ハマロード・サポーター事業</p> <p>各団体（47 団体）が活動拠点で行っている花壇づくりのための花の種や苗などを提供したほか、高齢者や小・中学生などの夏の暑い時期の活動に配慮し、活動時の飲料水を提供しました。</p> <p>また、8月の「道路ふれあい月間」等での活動のPRのほか、パネル展と交流会を開催しました。</p> <p>さらに、外部アドバイザーを招き、専門的な活動支援を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路ふれあい月間での活動PR（道の日イベント）：8月5日、区総合庁舎前ほか ・パネル展：7月3日～10日、区民ホール ・都筑区交流会（草刈りをテーマとした講演会の開催）：2月12日、区役所会議室、参加者数59人 ・外部アドバイザーの活動支援（「雑草に負けない美しい緑の道づくり講座」の開催）：10月5日、31日、12月2日、北山田四丁目現地ほか、参加者数約20人 <p>2 公園・緑道愛護会活動推進事業</p> <p>都筑区公園愛護会（154 団体）の総会・幹事会等の各種会議を運営支援し、パネル展やPR活動を実施しました。</p> <p>地域のネットワークの核となる公園の拠点倉庫に、草刈り機など共用の資機材を備えたほか、東方公園ほ場で愛護会向けの花苗を生産・配布するための消耗品等を提供しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園愛護会総会：7月7日、区役所会議室 ・パネル展：7月3日～10日、区民ホール 			
主な増減	ハマロード・サポーターの都筑区交流会における講演会開催に係る経費の減		

施策5 共感と信頼の区役所づくり

26 広報・広聴事業	H30 予算額	H30 決算額	差引額
	1,252万3千円	1,245万4千円	6万9千円

1 広報よこはま都筑区版発行业

紙媒体発行、PDF版のホームページ掲載を引き続き実施しました。8ページでの発行を基本としましたが、広く区民の皆様へ周知すべき事項を掲載するため、増ページ（12ページ）での発行を4回行いました。また、アプリによる配信やコンビニエンスストア、区内郵便局への配架を行い、新たな読者層の開拓を図りました。

- ・増ページ（12ページ）号を4回発行：5月（イベントカレンダー5月～1月分）、9月（防災・減災特集）、1月（イベントカレンダー1月～5月分ほか）、3月（福祉保健センターからのお知らせ）

2 都筑区転入者向けガイドブックの発行

平成28年度に発行した「Garden×都筑区役所」の内容を更新し、ガイドブックを発行しました。（3月、13,000部）

3 市民の声事業

窓口・郵送・インターネット等により区民の皆様のご提案やご意見を直接把握し、区行政に反映させました。

4 区民相談事業

法律相談（週1回）、行政書士相談（月2回）、司法書士相談・税務相談・公証相談・交通事故相談（月1回）、民事調停相談（隔月1回）を実施しました。

5 地域における多様な広聴の機会等

様々な機会を通じて区民の皆様からご提案やご意見をいただき、区行政に反映させました。

（1）主要事業説明会等

「主要事業説明会」を各地区連合自治会町内会単位で行うとともに、区内の主要事業を広報区版6月号への掲載や、区民ホールでのパネル展示でも周知を行いました。

- ・主要事業等説明会：4月22日～5月27日、15地区連合自治会町内会
- ・パネル展示：5月17日～24日、区民ホール

（2）意見交換会

住民相互の話し合いと行政との意見交換や、テーマ型団体と区長との意見交換などを通じ、地域課題について共通の理解を深め、解決に向けた検討を行いました。

- ・地域のつどい：5回
- ・区長の気軽にトーク等：2回

27 区役所改善推進事業 拡充	H30 予算額	H30 決算額	差引額
		1,086 万 8 千円	1,406 万 5 千円
<p>1 区役所改善推進事業</p> <p>(1) 窓口サービス等の改善を、改革推進委員会等で検討のうえ、実施しました。</p> <p>(2) 人権意識の向上を目的として、人権啓発講演会を実施しました。(12 月、都筑公会堂、参加者数 314 人)</p> <p>2 区庁舎等環境改善</p> <p>戸籍課及び保険年金課の受付窓口にて、スマートフォン等から混雑状況や呼出し状況を確認することができる受付番号システムを導入しました。(11 月)</p> <p>また、こども家庭支援課のカウンター数の増設等、2 階フロアのレイアウト変更を実施しました。(3 月)</p> <p>3 税理士等派遣事業</p> <p>確定申告の時期(2 月 16 日～3 月 15 日)に、専門知識のある税理士等の協力を得て、確定申告(医療費控除の還付申告)に係る申告書の作成支援と受付を、区民に身近な区役所で行えるようにしました。(区役所 3 階会議室等、相談件数 1,471 件)</p> <p>4 来庁者サービスアップ事業</p> <p>窓口の丁寧なご案内と業務の効率化のため、こども家庭支援課に窓口案内員を配置しました。(配置時間：8 時 45 分～17 時)</p> <p>また、区役所を利用するお子さま連れのお客様が安心して相談できる環境づくりを進めるため、一時託児を実施しました。(実施時間：9 時 30 分～15 時 30 分、244 日間実施、利用者数延べ 3,486 人(1 日あたり約 14 人)、保育従事者数延べ 976 人)</p>			
主な増減	区庁舎等環境改善事業において、障害児に係る業務を、高齢・障害支援課からこども家庭支援課に移管したことに伴う、カウンターの増設等のレイアウト変更による委託料の増		



※都筑区のマスコットキャラクター「つづき あい」
第3期都筑区地域福祉保健計画応援バージョン

令和元年度
都筑区自主企画事業の
執行状況について



都 筑 区
25th

令和元年 9 月 4 日

都 筑 区

目 次

令和元年度 都筑区自主事業説明書

自主企画事業費

施策1 つながりと協働を育むまち

- 1 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業 **重点** **拡充** 1
- 2 つづき“縁”ジン事業（市民活動・生涯学習支援事業） **重点** **拡充** 3
- 3 区役所改善推進事業 **拡充** 5
- 4 自治会・町内会支援事業 **拡充** 6
- 5 広報・広聴事業 **拡充** 7
- 6 まちづくり総合調整事業 **拡充** 8
- 7 地域de育む青少年事業（青少年健全育成事業） 10

施策2 いきいきと健やかに暮らせるまち

- 8 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業 **重点** 12
- 9 つづき健康づくりサポート事業 **重点** **拡充** 14
- 10 保育所を拠点とした地域子育て支援事業 16
- 11 地域で支える高齢者支援事業 17
- 12 障害者交流啓発事業 **拡充** 18

施策3 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

- 13 街のにぎわいづくり事業 **重点** **拡充** 19
- 14 未来につなぐオリンピック・パラリンピック事業 **重点** **拡充** 20
- 15 文化活動支援・スポーツ振興事業 **拡充** 22
- 16 メイドインつづき推進事業 23
- 17 「図説 都筑の歴史」編さん事業 **拡充** 24
- 18 都筑 国際交流プログラム **拡充** 26
- 19 横浜ビー・コルセアーズ応援事業 27

施策4 安全・安心なまち

- 20 災害にそなえる自助・共助の推進事業 **重点** **拡充** 28
- 21 危機管理対策推進事業 **重点** **拡充** 30
- 22 安全・安心なまちづくり事業 **拡充** 32
- 23 食と暮らしの安全推進事業 33

施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

- 24 つづき水と緑の魅力アップ推進事業 **重点** **拡充** 35
- 25 ハマロード・林・ター、公園・緑道愛護会等活動推進事業 **重点** **拡充** 36
- 26 環境にやさしいまち推進事業 38

温暖化対策プラス事業

- 市立保育所における温暖化対策啓発事業 **新規** 40

※ 重点事業は **重点**、拡充事業は **拡充**、新規は **新規**、と表記しています。

令和元年度 都筑区自主企画事業説明書

自主企画事業費

施策1 つながりと協働を育むまち

1 都筑区地域福祉保健計画 「つづき あい」推進事業 重点 拡充	R元予算額	H30 予算額	増△減
	338 万円	291 万円	47 万円

人のつながりを実感し、安心して暮らせる地域づくりを行うため、地域福祉保健の課題解決に向けて「自助」「共助」「公助」を組み合わせ、関連付けながら総合的に取組を進めていきます。

計画の推進にあたっては、区・区社会福祉協議会・区内地域ケアプラザの3者の連携をより深め、取り組んでいきます。

1 地域懇談会の開催

第3期計画推進に向けた地域での課題共有・解決を促進するため、全ての連合自治会町内会・地区社会福祉協議会エリアで地域懇談会を開催します。

- ・地域懇談会：11地区、参加者数563人（8月末時点）

2 地域福祉保健計画推進体制強化事業

(1) 計画の推進を担う各関係機関をはじめとする関係者及び地域住民に対し、地域福祉保健計画の啓発を進めます。また、第4期計画の策定に向けた機運の醸成を図るため、計画啓発用物品の制作を行います。

(2) 地域のつながりづくりや活動の担い手育成支援等のため、職員を対象とした研修を実施します。

3 地域福祉保健活動補助金

地域での活動や取組の支援を進めるため、「つづき あい基金」への補助を行います。

4 必要な人に支援が届く仕組みづくりの検討・支えあい連絡会の開催

各地域の支えあい連絡会を活用し、「必要な人に支援が届く仕組みづくり」について、引き続き取り組みます。また、(仮称)都田地域ケアプラザの整備に向けて、整備予定地周辺の自治会町内会をはじめ、各種団体等と調整します。

5 計画情報誌の発行

各地域での地域福祉保健計画を推進する取組を掲載した情報誌「つづき あい通信」を発行し、情報共有の一助とします。(7月、10月、2月、3回発行)

6 都筑区地域福祉保健計画推進委員会等の運営

都筑区地域福祉保健計画推進委員会を開催し、第3期地域福祉保健計画の推進やその方向性、地域の取組について、学識経験者や区民の意見交換の場とします。

また、併せて地域福祉保健計画推進のために子ども・青少年分野、高齢者分野、障害者分野及び健康づくり分野における意見交換を行う場を開催し、地域の取組を支援します。

- ・令和元年度第1回都筑区地域福祉保健計画推進委員会：6月28日

7 発表会の開催

計画推進のための各地区の取組を共有する場として、計画発表会「つづき あいフォーラム」とパネル展を開催します。

- ・「つづき あいフォーラム」：2月15日、都筑公会堂
- ・「つづき あいパネル展」：2月13日～19日、区民ホール

2 つづき“縁”ジン事業 (市民活動・生涯学習支援事業) 重点 拡充	R元 予算額	H30 予算額	増△減
	273万2千円	249万8千円	23万4千円

市民活動・生涯学習支援における個人のきっかけづくりから、グループ化を支援し、レベルに合った団体支援を行います。また、都筑区民活動センターが区内の中間支援組織のハブ機能を果たすことを目指し、団体同士や施設同士の情報の共有や連携が進むよう、ネットワークづくりに取り組みます。

1 はじめる（個人支援）

(1) 大人の学級

個人の学びを支援し地域活動へつなげることを目的に、特定のテーマを設定した学級を開催します。

- ・50代以上の女性のための講座

：6月7日 参加者数9人、14日9人、21日9人、28日9人、
7月5日6人、12日5人、9月6日、全7回

- ・地域デビュープランナー講座：11月～12月

- ・20代から30代の地域入門講座：1月～2月

(2) ベース60 男の居場所【新規】

地域を知り、仲間と出会い、地縁をはぐくむ場として、ボランティア活動の促進をテーマにサロンを開催します。

- ・6月28日 参加者数7人、7月26日5人、8月23日9人、
9月27日、10月25日、11月22日、1月24日、2月28日、全8回

(3) 輝く女性応援プロジェクト

「女性が住みやすく、活躍できるまち」となるよう、区内・近隣の女性たちによるネットワークづくりのためのイベントや講座を開催します。

- ・講座：10月～12月、全8回

- ・WOMEN'S MEET UP FES in 都筑：3月

(4) 区民活動センター利用促進事業

区民活動センターの新規利用者獲得のための事業を委託により実施します。現役世代から、地域活動や市民活動に関わることで退職後、地域とのつながりづくりにスムーズに移行できるきっかけを作ります。(11月～3月、週1回の開館時間延長)

2 つながる（個人から団体へ）

(1) 広報紙 きっかけマガジン「つづき“縁”ジン」の発行

市民活動・生涯学習をはじめのきっかけを提供するためのツールとして、広報紙を発行します。(6月、9月、12月、3月)

なお、9月・3月号の一部記事は市民ライターが執筆します。

(2) 区内の区民利用施設情報交換会

区内施設の情報交換会を行い、ネットワークの強化を図り、地域人材の発掘・育成を進めます。(11月)

3 ささえる（団体支援）

(1) つづき^{ひと}交流フェスタ

区内の市民活動団体・グループによる活動内容の発表、団体同士の交流のためのイベントを実施します。（3月）

(2) 縁ジンミーティング

区民活動センターの登録団体を対象として、活動内容に関わる必要な知識やノウハウについてテーマ別の講座を実施するとともに団体間の交流を図ります。（6月27日 参加者数18人、10月28日、11月18日、12月、全4回）

(3) 区民活動補助金

市民活動団体が自主的かつ主体的に行う、公益性が高く地域課題の解決につながる事業に対し補助金を交付します。（交付数8団体）

(4) 市民活動・生涯学習合同成果発表会

区民活動補助金交付団体等、今年度市民活動・生涯学習事業を実施した団体の成果を発表します。（3月14日）

3 区役所改善推進事業 拡充	R元予算額	H30 予算額	増△減
		1,369 万円	1,086 万 8 千円

区民満足度の向上のため「あったかハートつづき宣言」に基づき、窓口サービスの改善、区役所で税理士等による確定申告書の提出・相談、子ども連れのお客様が安心して相談できる環境づくり等を実施します。

1 区役所改善推進事業

- (1) 窓口サービス等の改善を改革推進委員会等で検討のうえ、実施します。(6月～3月)
- (2) 人権意識の向上を目的として、人権啓発講演会を実施します。(12月)

2 区庁舎等環境改善

区民ニーズに対応した区庁舎等の環境改善を行います。

パスポートセンターの開設に伴い、戸籍課証明発行窓口を拡張しました。(8月)

また、様々な来庁者が利用しやすい区庁舎になるよう、戸籍課及び保険年金課の窓口レイアウト変更や待合いフロアの環境整備を進めます。(12月～1月)

3 税理士等派遣事業

確定申告の時期(2月16日～3月15日)に、専門知識のある税理士等の協力を得て、確定申告(医療費控除の還付申告)に係る申告書の作成支援と受付を、区民に身近な区役所で行えるようにします。

4 来庁者サービスアップ事業

窓口の丁寧なご案内と業務の効率化のため、こども家庭支援課に窓口案内員を配置します。(配置時間：8時45分～17時)

また、区役所を利用するお子さま連れのお客様が安心して相談できる環境づくりを進めるため、一時託児を実施します。(実施時間：9時30分～15時30分)

4 自治会・町内会支援事業 拡充	R元 予算額	H30 予算額	増△減
		342万9千円	258万6千円

既存自治会町内会に対する各種支援を通じ、地域の活性化を図ります。併せて、地域のつながりに資する取組や自治会町内会への加入を促します。

1 自治会町内会長感謝会

自治会町内会長感謝会を開催し、永年にわたり尽力された会長に対し、感謝状・表彰状を贈呈し感謝の意を表します。（3月16日）

2 自治会町内会への情報提供

区連会資料を、8月を除く毎月、各自治会町内会あてに配送します。

3 自治会町内会加入促進

地域活動を促すため、自治会町内会への加入促進を連合町内会等と連携しながら行います。

- ・転入手続時の加入促進リーフレットの配布
- ・区内各駅や施設等での加入促進リーフレットの配架
- ・宅建協会横浜北支部と連携した加入促進リーフレットの配布
- ・連合町内会等と連携した加入の呼びかけ
- ・自治会町内会会長の人となりや活動の様子を紹介する冊子を作成・配布：3月

5 広報・広聴事業 拡充	R元予算額	H30 予算額	増△減
		191 万円	152 万 9 千円

区民に積極的に区政情報の提供を行い区民生活の利便性を高めるとともに、区政への理解を深めます。また、広聴事業により多様化する区民ニーズや地域の課題を把握し、円滑な区政運営を図ります。

1 広報研修の実施

効果的な広報を通じて区の活動方針や施策に対する区民の理解を深めるため、主に広報区版に携わる職員を対象とした広報研修を開催しました。

- ・広報物の作り方講座：8月9日、参加者数45人

2 広報区版記録集発行事業【新規】

区制25周年を迎えるにあたり、これまでの広報よこはま都筑区版の記録集を記念式典にあわせて発行します。(11月、A4版刷り、フルカラー、20ページ、2,000部)

3 インターネット広報

区ホームページにおけるオープンデータの提供や若年層に向けたツイッター等での情報発信を行います。

4 PRボックスの活用

毎月1日に区内全駅のPRボックス見開き掲示板に広報紙の最新号を掲示するほか、毎月10日には広報印刷物の補充等を行いイベント・お知らせ等の積極的な周知を行います。

5 転入者向けガイドブック発行事業

平成28年度に発行し、30年度に更新した「Garden×都筑区役所」を増刷します。(6,000部)

6 主要事業説明等周知、地域における意見交換会

様々な機会を通じて区民の皆様からご提案やご意見をいただき、区行政に反映させます。

(1) 主要事業説明等周知

「主要事業説明」を各地区連合自治会町内会単位で行うとともに、区内主要事業の広報区版への掲載や、区民ホールでのパネル展示でも周知を行いました。

- ・主要事業等説明会：4月21日～5月26日、15地区連合自治会町内会
- ・パネル展示：5月25日～29日、区民ホール

(2) 地域における意見交換会

地域課題について共通の理解を深め、解決に向けた検討を行います。

- ・地域のつどい：住民相互の話し合いや行政との意見交換会
- ・区長の気軽にトーク：地域で活動している団体と区長との意見交換会

6 まちづくり総合調整事業 拡充	R元予算額	H30 予算額	増△減
	627万9千円	528万円	99万9千円

まちづくりに関する区民の声を聴き、地域の課題解決等を図るため、課題解決に向けた検討や取組を進めるとともに、関係行政機関や区内企業・教育機関等との連携を進めます。

また、地域の実情に応じたきめ細やかなまちづくりに向けた普及・啓発を進め、区民主体のまちづくりを進めます。

1 企画調整・情報収集提供

(1) 東京都市大学との連携

地域課題に関する意見交換会（地域連携協力会議）、学生による地域についての研究発表会（地域連携調査研究発表会）、横浜キャンパスの学生を対象とした都筑区インターンシップ等を行います。

また、都筑区をテーマとした、地域の課題解決能力を身につける授業（「横浜・川崎学演習」）を、大学側と連携して実施しました。

さらに、留学生が地域に入るきっかけづくりとして、出身国・出身地域の暮らしや環境を紹介する「都市大留学生カフェ」を開催します。

- ・地域連携協力会議：5月31日、東京都市大学横浜キャンパス
- ・インターンシップの実施：8月～9月、受入数2人
- ・地域連携調査研究発表会：2月

(2) その他企業との連携

企業による学校出前講座（つづき博士倶楽部）や区内企業との情報交換を行います。

2 都筑区区民意識調査【新規】

一定数無作為抽出した区民を対象に、区政に対する意向や意識を調査し、今後の都筑区の施策の基礎資料とします。

- ・調査実施：5月20日から6月17日まで
- ・回収率：49.9%
- ・単純集計の結果の報告（記者発表）：9月中旬
- ・報告書公表、調査結果の報告①（記者発表）：12月上旬
- ・調査結果の報告②（広報よこはま都筑区版、区連会）：12月中旬

3 地域まちづくり推進

(1) 地域主体のまちづくりの推進

地域の実情に応じたルールづくりやまちづくりの普及・啓発活動、まちづくりグループへの支援を行います。

(2) タウンセンター周辺地区の活性化

都筑区民文化センター(仮称)の整備が予定されているタウンセンター周辺地区の活性化に向けた検討及び取組支援を行います。

4 まちの課題解決

(1) 外出利便性向上に向けた方策

「都田・池辺地区ボランティアバス」の実証運行期間中の運行支援を行いながら、運営体制及び運行ルート等の検討を行います。

(2) バス路線利用促進に向けた周知PR

横浜市生活交通バス路線の利用促進PRの取組を進めます。

- ・生活交通バス路線の周知用ポスターをバス車内に掲示
- ・318系統バス沿線マップの作成及び利用促進PR：10月

(3) まちの課題解決事業

地域のつどい等で把握できた課題について、緊急性や実現可能性等を考慮しながら取組及び検討を実施します。

7 地域 de 育む青少年事業 (青少年健全育成事業)	R 元予算額	H30 予算額	増△減
	104 万 2 千円	83 万 7 千円	20 万 5 千円

青少年の健全育成に取り組む団体を支援し、青少年のためのよりよい環境づくりを推進します。また、青少年が自主的に活動できるような事業を実施し、いきいきと活躍できる機会を提供します。

1 青少年支援者育成講座

青少年指導員をはじめとする青少年支援に関わる活動団体等を対象に、課題の共有やスキルアップ、情報交換等を目的とした講座や研修を開催します。(年2回)

- ・第1回「ボッチャを体験し、青少年に対して指導する際のアプローチ方法を学ぼう」
: 6月16日、都筑区役所6階大会議室、参加者数60人

2 はあと de ボランティア

(1) はあと de ボランティア～中高生のための夏休みボランティア体験～

夏休み期間を利用して、中・高校生が、普段関わる機会が少ない年代や地域の方々と交流し、体験を通じて学ぶことで、新しい自分との出会いや新たな発見ができるきっかけとするために、ボランティア体験事業を実施します。また、施設や団体と連携して、中・高校生と地域をつなぐことによって、地域の大人にとっても、中・高校生に出会える場、新たな気づきの場となることを目指します。(申込者数213人、体験先136プログラム)

さらに、中・高校生が、はあと de ボランティアの体験プログラムを自ら企画・運営する「STEP UP プログラム」を実施します。

- ・レモネードスタンド
: 8月21日、えだきん夜店市(えだきん商店会)、参加者数18人

(2) はあと de ボランティア プレコース (小学校高学年向け)

より早い段階からの意識づけや異世代間交流を促進するため、中・高校生向け事業と連携し、小学生向け事業を実施します。小学校5・6年生が、地域の大人や中・高校生と共に活動を体験する中で、社会性や自主性を身に付け、将来ボランティア活動に関心をもつきっかけを提供します。(申込者数56人、体験先21プログラム)

(1) (2) 共通のスケジュール

- ・オリエンテーション: 7月19日～22日、全6回、都筑多文化・青少年交流プラザ及び区内4館地区センター
- ・ボランティア体験: 7月24日～8月23日、区内各所(夏祭り、区内区民利用施設、保育所、高齢者施設、区内企業、コミュニティカフェ等)
- ・振り返り・修了証授与: 8月24日、都筑区役所6階大会議室

3 つづきウォーク&フェスタ

緑道や公園等の区の魅力の発見や、青少年を含む参加者の世代を超えた交流、健康増進を目的とした「つづきウォーク&フェスタ」の開催を支援し、地域のつながりを活用した青少年育成と健康づくりに取り組みます。また、「都筑区健康アクション！」とも連携しながら、区制 25 周年を盛り上げます。

- ・つづきウォーク&フェスタ実行委員会：5月30日、8月26日
- ・つづきウォーク&フェスタ：11月23日、すきっぷ広場及び区内各所

施策2 いきいきと健やかに暮らせるまち

8 妊娠期から学齢期までの 切れ目のない子育て支援事業 重点	R元予算額	H30 予算額	増△減
		919万3千円	944万8千円

地域・学校・関係団体・区役所等が連携し、子育て支援のネットワークの充実、育児不安を抱える養育者への支援、様々な課題を抱えた子ども達の居場所づくりなど、妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援に取り組みます。

1 夫婦で子育て応援事業

就労をしている妊婦や夫（パートナー）が参加しやすいように、土曜日半日コースの両親教室を、区役所会場で4回とポポラ会場で4回実施します。

- ・区役所会場：5月25日参加者数47組、8月10日42組、11月9日、2月15日
- ・ポポラ会場：7月27日16組、9月28日、1月25日、3月28日

また、都筑区の先輩ママから「妊娠中のママへの応援メッセージ」を集め、母子健康手帳交付時に配布している「妊娠マイカレンダー」の裏面に印刷し、全妊婦に配布します。

2 外遊び広め隊事業

地域の外遊び団体や乳幼児の親子が継続的・自主的に外遊びを実施できるよう支援するため、地域で外遊びを実施している団体等を対象にした情報交換会（外遊び連絡会）を実施します。

（1月）

また、乳幼児の保護者や地域の人を対象に、外遊びの大切さを伝える「外遊び研修会」（講演会と実地研修）を開催します。（10月4日、24日）

3 子育てネットワーク事業

地域子育て支援拠点Poppola（ポポラ）や区社会福祉協議会、地域ケアプラザと協力して、関係機関の情報・意見交換（子育てネットワーク会議）及び子育て支援の団体・関係者の交流会（子育てネットワーク交流会）を実施します。

また、子育てサークルの運営を支援するため、研修や運営支援、情報交換（サークル交流会）を行います。

- ・子育てネットワーク会議：5月31日 参加者数20人、拡大研修2月10日
- ・子育てネットワーク交流会：12月2日

4 虐待等相談及び養育支援事業

児童虐待を予防するため、養育にうまく対応できていない保護者に対して、訪問員や相談員が継続的な養育支援を行います。

5 放課後キッズクラブ運営NPO法人設立支援事業

はまっ子ふれあいスクールから放課後キッズクラブへの転換に際し、はまっ子ふれあい

スクール委員会に対するNPO法人設立支援や、運営開始後に必要な実務的な支援等を実施します。

- ・はまっ子ふれあいスクール訪問：4回
- ・運営に役立つ情報をまとめたキッズクラブ通信を各クラブに配付：8月、12月、年2回

6 地域が支える子ども達の居場所づくり事業

様々な課題を抱えた小学生等を対象に、生活習慣や学習習慣を身に付けられるきっかけとなるよう、地域の協力を得て、居場所づくり事業を実施します。

- ・池辺町連合自治会館：参加児童数延べ52人（8月末時点）

7 学齢期保護者のネットワークづくり支援事業

未就学児のいる保護者を対象に、いわゆる「小1の壁」の不安を軽減するため、講演会や放課後児童育成事業の紹介を行い、併せて、各小学校PTAの協力を得て同じ小学校に入学予定の保護者同士の情報交換の場を設けます。

- ・小学校入学前に知っておきたい大切なこと～今から備える「小1の壁」～
：9月7日、9月14日、9月21日、各回定員70名、都筑区役所1階多目的室

8 「トツキトウカYOKOHAMA」を活用した命の授業

小学6年生を対象に、助産師や保健師による講義と保護者による詩集の朗読を通して、子どもの健やかな成長を願う保護者の気持ちや命の尊さを知り、自分や周りの人を大切にすることを育むため、学校や保護者等と協力して、命の授業を区内の全市立小学校（22校）で実施します。（6月～3月）

- ・命の授業：6月25日、参加者数約140人、都筑小学校

9 赤ちゃんふれあい体験事業

中学生を対象に、乳幼児との触れ合いを通して、命の尊さを実感し、保護者への感謝の気持ちや子育てに対する意識を醸成するため、学校や地域の協力を得て、赤ちゃんふれあい体験事業を区内の全市立中学校（8校）で実施しました。（7月～8月、参加者数延べ71人）

10 「つづき・育なび」推進事業

スマートフォンやパソコンから乳幼児健診や保育園・幼稚園、医療機関、お出かけスポット、予防接種スケジュールなどの情報を手軽に見られる「つづき・育なび」ウェブ版及びアプリを運用します。

11 都筑区地域子育て支援拠点サテライトオープニングイベント【新規】

都筑区地域子育て支援拠点サテライトの開所を記念し、オープニングイベントを実施します。（10月28日、ららぽーと横浜）

9 つづき健康づくりサポート事業 重点 拡充	R元予算額	H30 予算額	増△減
		263 万円	176 万 2 千円

区民の自主的な健康づくりを支援するため、「都筑区健康アクション」に基づき庁内連携を進めるとともに、保健活動推進員、食生活等改善推進員、民間企業との協働により生活習慣病及びがんの予防、食育の推進を中心とした健康啓発を行います。

1 生活習慣病・がん予防啓発事業

健康寿命に影響を与える生活習慣病や死因の第1位を占めるがんについての正しい知識や情報を発信し、その予防方法についての啓発に取り組むとともに、特定健診・がん検診受診を勧奨します。

- ・生活習慣病予防、運動啓発パネル展：10月7日～10月15日、区民ホール
- ・大腸がんトイレットペーパーを活用したがん啓発：月2回、区役所内トイレ
- ・3歳児健診保護者を対象とした乳がん啓発
：月2回、啓発者数延べ467人（うち個別指導220人）

2 食育推進事業

食育は生涯にわたるすべての世代に応じた間断のない大切なものです。特に、都筑区は15歳未満の人口割合が高いという特徴をとらえ、子どもたちとその保護者が将来にわたり健全な食生活を送ることができるようになることを目指します。

- ・食育・健康フェアパネル展：6月14日～20日、イベント：6月22日、区民ホール、参加者数700人（延べ3,929人）
- ・子育て支援事業会場における乳幼児向けの食事相談：区内11か所、延べ39回
- ・食育情報交換会：第1回7月2日、参加者数36施設 61人（ヘルスマイト12人含む）
第2回12月上旬

3 地域の健康づくり応援事業

保健活動推進員や食生活等改善推進員と協働で健康に関する講演会を、各推進員会発足25周年記念として開催することで、各推進員の地域の健康づくり活動への意欲向上を図るとともに、区民の健康づくりに取り組む意識をより一層醸成します。

さらに、「つづき つづける 健康づくり」のスローガンを広く伝えることで、健康アクションとして区役所が一丸となって取り組んでいることを区民に周知し、自らがそれぞれの健康づくりに取り組むきっかけを作ります。

- ・合同健康講演会「木久蔵流 笑うが一番」 講師 林家 木久蔵 氏
：10月9日、都筑公会堂、定員数600人（都筑区民等350名、各推進員250名）

4 健康づくり環境整備

国民健康保険の被保険者をはじめとする区民が健康づくりに関心を持てるよう、平成 29 年度から保険年金課待合スペースで実施しているストレッチ映像の放映や健康づくり文庫設置等の取り組みを引き続き実施していきます。

10 保育所を拠点とした 地域子育て支援事業	R元予算額	H30 予算額	増△減
	333万3千円	354万1千円	△20万8千円

市立保育所の子育て支援機能を活用し、地域の親子に仲間づくりや身近な相談ができる環境を提供します。

1 おひさま広場（園庭開放）

市立保育所が、子育て中の保護者にとって地域の身近な子育て支援機関となるよう、保育協力者を配置して園庭を開放し、園庭で子どもを遊ばせながら育児相談などができるようにします。

（5園計335回、利用者数延べ4,044人、協力者数延べ378人、7月末時点）

2 休日園庭開放

市立保育所の中川西保育園及び茅ヶ崎南保育園において、民生委員・児童委員など地域の方の協力により、毎月第3日曜日に園庭を開放します。

（2園計8回、利用者数延べ167人、地域の協力者数延べ22人、7月末時点）

3 給食体験事業

地域の親子が市立保育所の園児と一緒に給食を体験する場を設けます。また、市立保育所職員が保護者へ食事のとり方や作り方について助言します。

（5園計15回、利用者数延べ78人、7月末時点）

4 ほいくえん広場

市立保育所、認可保育所及び横浜保育室等が合同で、保育所の遊びの紹介や育児相談などを行います。親子が参加しやすいように地域ごとに実施します。

- ・Aエリア（東山田周辺）：9月6日、東山田地域ケアプラザ
（仲町台周辺）：9月12日、仲町台地区センター
- ・Bエリア（中川・北山田周辺）：11月13日、北山田地区センター
- ・Cエリア（茅ヶ崎周辺）：7月5日、都筑公会堂 参加者数192人
- ・Dエリア（池辺町、川和町周辺）：10月30日、都筑地区センター

5 積木交流

保育施設や幼稚園等における地域の子育て支援の充実を図るため、地域の親子向け育児講座として、区民ホールで積木を使ったイベントを区制25周年記念行事として開催するなど、「積木の都筑」を広めていきます。

- ・積木イベント：9月20日、区民ホール、市立保育所・民間保育所の公開保育
9月21日、区民ホール、地域の親子対象

11 地域で支える高齢者支援事業	R 元 予算額	H30 予算額	増△減
	124 万 2 千円	189 万 4 千円	△65 万 2 千円

高齢者が住み慣れた地域で、その心身の状態に応じて自立意欲を保ち、互いに支え合い、安心して暮らし続けることができるまちの実現を目指します。そのために認知症に対する正しい理解や介護予防の普及啓発を促進するとともに地域で主体的に取り組む支援者を育成します。

1 認知症普及啓発事業

(1) 認知症フォーラム「認知症になっても安心して暮らすために!!」

都筑区内の方へ認知症の症状や治療方法、相談先、経過等、関連する情報を広く提供をし、認知症だけでなく認知症の方や家族等への対応等についても、理解を深めるための講演会を開催します。(9月7日、都筑公会堂)

(2) サポート連絡会

地域の方や認知症に関わる団体等が集まり、認知症普及啓発活動の企画や課題検討、各グループの活動に関する情報交換を行います。

- ・認知症サポート連絡会：年12回開催

2 認知症人材育成事業

認知症に関する知識を習得し、地域での普及啓発等の活動に携わる人材を育成するための講座を実施します。(11月～1月)

3 福祉保健情報提供事業

福祉保健情報コーナー「ふくほの森」の管理・運営、サポートスタッフ（市民ボランティア）を配置します。

チラシ・パンフレットの配布や閲覧資料の紹介、介護施設サービス等の情報提供、申請書類の記載支援、お客様の案内誘導等を行います。

また、タブレット端末を用いて、高齢者や障害者支援等に関する最新の情報をご案内します。

12 障害者交流啓発事業 拡充	R 元 予算額	H30 予算額	増△減
		147 万円	105 万円

障害児・者と区民との交流を目的とし、福祉農園事業、障害者地域啓発事業、障害者施設支援事業を実施します。

1 福祉農園事業

障害者の自立・社会参加のために、地域の理解を深め、つながりを作る啓発事業を行います。

新たに「～新・福祉農園イベント～障害者と地域の共生フェスタ」という内容で実施します。

- ・芋ほりイベント：10月20日、障害児・者のみの参加
- ・啓発イベント（講演会、障害者スポーツ ボッチャの体験など）
：12月1日、区民ホール及び都筑公会堂

2 障害者地域啓発事業

多くの区民が参加する区民まつり等において、障害児・者が参加しやすい環境をつくることにより、交流の機会を増やすための事業を推進します。

障害のある方が、地域防災拠点の防災訓練に参加し、地域の方と顔が見える関係を築くとともに、障害者自身も拠点の役割や機能を知る機会を作ります。

障害者自立支援協議会を活用し、地域向け講演会を区内の地域ケアプラザで行い、その活動内容についてホームページを使って情報発信します。

- ・地域向け講演会（障害理解の啓発）
：9月14日、28日、10月12日、加賀原地域ケアプラザ
10月13日、10月20日、葛が谷地域ケアプラザ

3 障害者施設支援事業

障害者の社会参加につなげるために、区役所やセンター南・センター北駅で障害者施設の自主製品販売を支援します。

また、障害者施設のネットワークである「てつなぎつづき」が、障害者と地域住民との交流の機会に自主製品販売を行いました。

- ・「第1回てつなぎまつり」の開催支援（製品作成のデモンストレーション及び体験等）
：8月26日、障害者研修保養センター 横浜あゆみ荘

施策3 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

13 街のにぎわいづくり事業 重点 拡充	R元 予算額	H30 予算額	増△減
		620万5千円	448万円

区民の皆様のふるさと意識の向上や、異文化交流によるつながりづくりを目的としたイベントを開催することで、街のにぎわいづくりを目指します。

区制25周年を迎えるにあたり、区民の皆様にPRするとともに25周年をお祝いし盛り上げていきます。

また、商店街の魅力を地域に発信し、商店街活性化を図ります。

1 都筑区民まつり

区民の皆様に地域に対する愛着やふるさと意識を醸成していただけるよう、都筑区ふるさとづくり委員会とともに「第25回都筑区民まつり」を実施します。(11月3日)

また、記念式典(11月9日開催)等、区制25周年の記念事業を実施します。

2 商店街魅力発信事業

都筑区商店街連合会とともに商店街の魅力を区民の皆様に伝える取組を行います。

また、プロスポーツチーム等、都筑区の魅力的な資源と連携することで、効果的に区民の皆様と区内商店街とのつながりの創出を図ります。具体的には、商店街からのラブレター事業の景品として横浜ビー・コルセアーズ関連グッズのプレゼントや、区民ホールにて商店街のパネル展(7月18日～24日)を開催し、商店街の紹介と合わせてガチハンバーグ出店店舗の紹介も行いました。

3 都筑・ドイツ交流イベント事業

センター北駅前の芝生広場を会場に、ドイツの冬の風物詩であるクリスマスマーケットを都筑・ドイツ交流イベント実行委員会とともに開催します。(12月7日、8日)

昨年に引き続き「ものづくりがつなげるつづきとドイツ」と題したメイドインつづきとドイツ企業のコラボレーション企画(クリスマスツリー制作やワークショップ等)を実施します。

14 未来につなぐ オリンピック・パラリンピック事業 重点 拡充	R 元 予算額	H30 予算額	増△減
	90 万 5 千円	70 万円	20 万 5 千円

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催に向け、機運醸成を図ります。特に都筑区では、横浜国際プールが英国代表チームの事前キャンプ地となるため、「ホストタウン」としての取組を通じ、スポーツはもとより、文化芸術や国際理解など幅広い分野で、まちのにぎわいを創出します。

1 都筑×英国文化交流講座の開催

東京 2020 大会を契機として都筑区と英国の交流を深めるため、都筑区と英国の相互の文化を知り、2020 年のホストタウンとしてのおもてなしを考えるための講座を開催します。

なお、講座の開催にあたっては、都筑多文化・青少年交流プラザと連携して実施します。

- ・「日本とイギリス文化の融合～素朴な食にこそ豊かさがある～」講座

：10 月 6 日、都筑民家園、定員 日本人 30 人、外国人 15 人

講師 青木 ゆり子 氏 e - f o o d . j p 代表

馬場 寛明 氏 TANBO NO WA

2 国際理解講座の開催

2020 年に向けて、英国の事前キャンプ地となることを P R するために、東京 2020 大会の前年に開催されるラグビーワールドカップ 2019[™]の盛り上がりを生かし、相乗的に 2 大会の機運醸成を図り、区民の関心を高める国際理解講座を開催しました。

平成 29、30 年度の国際理解講座の参加者に令和元年度の講座について企画段階から運営協力をいただいたほか、講座終了後は参加者が自主的に活動できるよう支援を行います。

- ・「グローバル人材と人間力 ～ボランティアレガシーを残すために～」講座

：8 月 7 日、8 日、都筑多文化・青少年交流プラザ、参加者数 23 人

(1) 8 月 7 日「ボランティアレガシーを残すためにできること」

講師 栗栖 良依 氏 N P O 法人スローレーベル 理事長

講師 岡田 輝彦 氏 公益財団法人横浜市国際交流協会 理事長

(2) 8 月 8 日「ボランティア経験を通じて、個人のライフキャリアにレガシーを」

講師 中村 天江 氏 リクルートワークス研究所 主任研究員

3 英国代表チーム歓迎イベント【新規】

横浜国際プールでプレ事前キャンプを行った英国水泳代表チームとの交流会等を、区内の施設等で実施しました。

(1) プレ事前キャンプ前の取組

- ・北山田駅、横浜国際プール間の階段装飾の更新：6 月
- ・横浜国際プールに展示するガラスアート作成イベント：6 月 8 日、参加者数 30 人

(2) プレ事前キャンプ中の取組

- ・練習初日の歓迎セレブレーション：7月8日、参加者数 268 人
- ・練習見学会：7月12日、13日、参加者数 819 人
- ・英国水泳代表選手及びスタッフの日本文化体験会：7月12日、15日
- ・練習最終日の歓送ミニセレモニー：7月16日、参加者数 71 人

4 ボツワナ共和国のホストタウン登録に伴う取組【新規】

第6回都筑・ボツワナ交流児童画展等の機会を活用して、ボツワナ共和国のホストタウン登録の広報を行います。(8月～)

- ・第7回アフリカ開発会議関連事業「映画館でアフリカにふれて、体感しよう！」におけるPRチラシの配架：8月10日～30日、イオンシネマ港北ニュータウン



プレ事前キャンプ中の英国水泳代表選手
及びスタッフの日本文化体験会の様子



横浜国際プール

15 文化活動支援・スポーツ振興事業 拡充	R元 予算額	H30 予算額	増△減
		196万9千円	181万9千円

区民の皆様の文化活動を促進し、発表の機会を提供するとともに、地域住民のスポーツの普及活動を推進し、区民の皆様の健康向上や余暇時間の質の向上を図ります。

1 都筑区民文化祭事業

区民による区民のための手作りの文化祭の開催を支援し、世代を超えて都筑の文化を創ります。

- ・ボランティアスタッフ、キャッチフレーズ募集：4月
- ・キャッチフレーズ「広げよう 令和の文化を都筑から」
- ・ポスターデザイン画募集：7月～9月上旬
- ・参加者募集：9月～10月下旬
- ・第24回都筑区民文化祭：1月18日～2月2日
- ・「横浜音祭り2019」区連携事業 ドイツ音楽祭 in 都筑：9月21日、都筑公会堂

2 体育協会活動補助事業

都筑区体育協会に対し補助や情報共有を行い、各種目別の区民大会の開催支援を行います。

3 都筑ふれあい健康マラソン大会事業

都筑区の魅力である自然豊かな緑道をコースとし、親子でも楽しめるマラソン大会の開催を支援することで、スポーツ振興と健康増進、異世代交流を図ります。（3月1日）

4 都筑スポーツ・文化賞事業

スポーツ・文化の分野においてめざましい活躍、顕著な功績のあった都筑区にゆかりのある方々を表彰し、さらなる活躍を期待するとともに、スポーツ・文化活動への関心を高めます。

5 地域の読書活動推進事業

横浜市市民読書活動計画の改定に基づき、第2期「都筑区読書活動推進目標」を定めます。併せて、読書をより身近なものにするため、読書活動団体・読書関連施設と連携し、「つづきブックマップ～都筑区読書関連施設マップ～」を更新します。

16 メイドインつづき推進事業	R元予算額	H30 予算額	増△減
	436万9千円	498万3千円	△61万4千円

都筑区の製造業の持つ高度なものづくり技術や独創的な製品、区内でとれた新鮮な都筑野菜などの「メイドインつづき」をPRすることにより、販路開拓や地産地消につながる支援を実施します。

1 展示会出展等支援

神奈川県内最大級の工業技術・製品の総合見本市である「テクニカルショウヨコハマ」への出展支援を行うほか、都筑区ブース専属コーディネーターの配置、企業紹介冊子の作成等を行い、中小製造業の販路拡大を推進します。

2 地産地消の推進

区内農産物消費者と生産者のマッチング、都筑野菜朝市の定期開催（概ね月2回）やイベント開催、都筑野菜マルシェセット（のぼり旗、エプロン、簡易テント、テーブル、野菜結束テープ）の貸し出し、リーフレットやステッカーなどのPRツールを活用した都筑野菜のPRなど、地域の中での地産地消の取組を支援します。

また、区内小学校への地産地消に係る出張授業や、広報よこはま都筑区版でのPRを行い、食育と地産地消をテーマとしたイベントを開催します。

- ・食育健康フェアにて都筑野菜のPRと食育を推進するイベント：6月22日、約50名
- ・JA横浜と連携した都筑野菜を用いた料理教室：11月～12月、3回
- ・都筑区制25周年を記念する特別給食：11月、区内の全市立小学校22校

3 事業PRイベントの実施

区内企業と連携し、子どもたちがものづくりを体験できるイベントを実施するとともに、PR動画等の広報媒体を活用し、区内企業の活動紹介や地域の中小製造業の魅力の発信を行います。

- ・「夏休み！つづき・ものづくり体験！」：7月27日、来場者数約400人（ものづくり体験ワークショップに参加児童数：延べ226人）、協力企業15社、港北みなも

	R 元 予算額	H30 予算額	増△減
17 「図説 都筑の歴史」編さん事業 拡充	320 万円	300 万円	20 万円

子どもから大人まで都筑区への関心を高め、ふるさと意識やより一層のつながりづくりを目的に、都筑区ふるさとづくり委員会「図説 都筑の歴史」編さん委員会を支援し、原始から現代までの都筑の歴史を総合的にまとめた「図説 都筑の歴史」を発行します。

1 編さん委員会の支援

平成 30 年度に引き続き、有識者や区民団体代表などの協力を得ながら、発行に向けて原稿の調整作業を行います。

- ・第 20 回「図説 都筑の歴史」編さん委員会：8 月 9 日
- ・第 21 回「図説 都筑の歴史」刊行前最終編さん委員会：9 月 27 日

2 「図説 都筑の歴史」の発行

11 月 9 日の都筑区制 25 周年記念式典と同日に発行します。

- ・「図説 都筑の歴史」の発行：2,000 部、予定価格 2,000 円、都筑区ふるさとづくり委員会発行

3 刊行イベントの開催

横浜市歴史博物館や都筑図書館と連携した「図説 都筑の歴史」刊行イベントとしてパネル展を実施し、刊行について周知を図る等、区制 25 周年を盛り上げます。

(1) パネル展の開催

- ・パネル展：9 月 14 日～30 日、都筑図書館

(2) 区民活動団体や区民利用施設等との連携開催

- ・刊行イベント「ニュータウン人・縁卓会議 in 港北ニュータウン」（主催：ニュータウン人・縁卓会議 in 港北ニュータウン実行委員会）
：9 月 22 日、東京都市大学横浜キャンパス

4 「図説 都筑の歴史」の概要

- ・体裁：A 4 判、横書き、フルカラー、約 250 ページ
- ・構成：序章

第 1 章 原始（旧石器時代から古墳時代まで）

第 2 章 古代（奈良時代から平安時代まで）

第 3 章 中世（鎌倉時代から小田原北条時代まで）

第 4 章 近世（徳川家康の江戸入府から廃藩置県まで）

第 5 章 近代（明治維新から第二次世界大戦終了まで）

第 6 章 現代（戦後から現在まで）

付録（都筑区地図と町名、指定・登録文化財一覧、年中行事、歴代選出市議員・連合町内会自治会会長・区長一覧等）

18 都筑 国際交流プログラム 拡充	R 元 予算額	H30 予算額	増△減
		155 万円	140 万円

ボツワナ共和国などアフリカとの交流実績を生かして、第7回アフリカ開発会議横浜開催に向けた区内の機運を高めます。

また、区内在住の外国人の皆様が安心して暮らし、活動できるまちづくりを推進します。

1 都筑多文化・青少年交流プラザ事業

外国人への情報提供や多文化交流、青少年の地域活動及び区民活動の場を提供するため、「都筑多文化・青少年交流プラザ(つづきMYプラザ)」に以下の事業の運営を委託します。

(1) 国際交流・外国人支援事業

外国人のための生活情報提供や外国人支援ボランティアの養成、国際理解の促進のためのイベント、ボツワナ共和国をはじめとするアフリカとの交流事業を実施します。

(2) 市民活動支援

日本語ボランティアなどの市民活動団体やグループ等へ活動場所を提供します。

2 第7回アフリカ開発会議 関連事業

センター北にあるイオンシネマ港北ニュータウンにて、サバンナのジオラマを展示するなどのロビープロモーションやPR動画を活用したイベント等を実施し、横浜で開催される国際会議に向けた区内の機運を高めました。

- ・国際理解教室(ボツワナ大使訪問): 6月18日、茅ヶ崎小学校
- ・映画館でアフリカにふれて、体感しよう!
: 8月10日~12日、イオンシネマ港北ニュータウン
- ・第7回アフリカ開発会議公式サイドイベント(「都筑・ボツワナ交流児童画展」で描かれたボツワナのベン・テマ小学校の児童の絵を通して、児童画展5年間の歩みを振り返る展示)
: 8月27日~30日、パシフィコ横浜

19 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	R 元 予算額	H30 予算額	増△減
	60 万円	60 万円	0 万円

平成 29 年 3 月に横浜ビー・コルセアーズ、都筑区連合町内会自治会、都筑区の三者で「ホームタウン活動の協力に関する基本協定」を締結しました。この協定に基づき、横浜ビー・コルセアーズの P R 活動や地域に根差したチーム作りの支援を行うとともに、地域が一体となってチームを育てる体制づくりに取り組むことで、市民スポーツの振興や地域活性化を図ります。

1 地元応援イベントの実施

地域の文化・芸術団体など地域の皆様と連携し、横浜国際プールや区内施設において、横浜ビー・コルセアーズを応援するイベントを実施するとともに、横浜ビー・コルセアーズの選手を交えたバスケットボール教室などを通じて、地元ファン層の拡大を図ります。

- ・バスケットボール教室：8 月 1 日、東山田中学校体育館、参加者数 区内中学校（9 校）のバスケットボール部員 61 人
- ・B リーグ 10 月 3 日開幕カウントダウンボード設置：8 月～10 月、区民ホール
- ・パネル展示：9 月 25 日～10 月 1 日、区民ホール
- ・広報よこはま都筑区版での紹介：12 月

2 都筑区応援 d a y の実施

横浜ビー・コルセアーズの本拠地である横浜国際プールでの試合日の中で、区民の皆様には試合観戦を呼びかける都筑区応援 d a y を実施します。

3 商店街との連携支援

横浜ビー・コルセアーズと商店街との連携企画、イベントの広報協力を行うことで、チームと商店街の連携を引き続き支援し、地域に根差すチーム作りと地元プロスポーツに関わる人々の増加を図ります。

施策4 安全・安心なまち

20 災害にそなえる 自助・共助の推進事業 重点 拡充	R元予算額	H30 予算額	増△減
		328万8千円	193万5千円

地域防災拠点運営委員向けの研修会及び防災・減災講演会等を開催するとともに、「災害時要援護者支援事業（つづき そなえ）」により、地域における支えあいの取組を支援することで、自助・共助の取組を推進し、地域防災力の向上を図ります。

1 地域防災拠点運営委員会の運営支援

地域防災拠点運営委員を対象として、地域防災拠点の開設・運営などに関する研修会を開催するとともに、地域防災拠点における訓練を支援します。

- ・地域防災拠点運営委員会連絡協議会：5月17日、参加者数35人
- ・地域防災拠点運営委員向け研修会：第1回 6月1日、参加者数34人
第2回 6月29日、参加者数16人
第3回 1月

2 防災・減災講演会、出前講座及び自治会町内会向け研修会の開催

大規模地震や風水害への備えなどについて区民や自治会町内会等を対象とした講演会等を開催し、防災・減災に関する意識啓発を図ります。

- ・防災・減災講演会（2月）
- ・出前講座：3回（8月末時点）
- ・自治会町内会向け研修会の開催（11月）

3 災害時要援護者支援事業（つづき そなえ）

取組を実施する地域に対して災害時要援護者名簿を提供します。また、地域の実情に合った支援体制づくりを積極的に支援するため、連合自治会町内会に対し研修会を開催するとともに、補助金を交付します。

- ・補助金申請地区：10地区
- ・名簿提供地区：1地区

4 鶴見川水系水害に関する連絡会の開催

区内を流れる鶴見川水系の流域にお住まいの地域の方とともに、地域の現状や課題、発災時に備えた取組などについて意見交換を行い、地域と一体となって水害対策に関する取組を進めます。（2月）

5 補充的避難所活用事業

多数の避難者で避難所のスペースが不足した場合や避難所の機能不能時に代替施設となる補充的避難所について、地域防災拠点に準じた円滑な開設・運営ができるよう体制づくりを行います。

6 今すぐ取り組む健康づくり

健康づくりの観点から、災害時にも役立つ「食の備蓄」「口腔ケア」「衛生対策」に関する冊子を作成し、様々な機会をとらえて平常時からの備えについて啓発します。また、感染症予防啓発のため、ペットボトルを利用した適正な濃度の消毒液の作り方シールを作成し、保育施設や高齢者施設等に配布します。(冊子「今すぐ取り組む健康づくり～災害時にも役立つ健康づくり～」5,000部、消毒液作り方シール1,000枚)

- ・防災救急フェア 2019 での冊子配布：9月1日
- ・区民まつり会場での冊子配布：11月3日
- ・ウォーク&フェスタでの冊子配布：11月23日
- ・感染症対応指導者研修でのシール配布：8月27日 高齢者施設対象
8月28日 幼稚園・保育園対象
- ・感染症パネル展でのシール配布：10月29日～11月5日
- ・養護教諭部会（小中学校）、地域ケアプラザ、地区センターでのシール配布

7 災害時のペット対策事業

各地域防災拠点訓練等で、「災害時のペット対策」についての啓発・支援を行います。

- ・地域防災拠点運営委員向け研修会での説明：第2回 6月29日

21 危機管理対策推進事業 重点 拡充	R元予算額	H30 予算額	増△減
	973万2千円	500万5千円	472万7千円

大雨や台風による土砂災害や河川の氾濫を想定した風水害対策訓練、地震により負傷者が多数発生したことを想定した災害医療対策訓練などの各種訓練を通じて、関係機関・団体との連携を図ります。これに加えて、区災害対策本部運営訓練を実施し、区本部体制の強化を図ります。

また、災害時に迅速かつ的確な情報発信・収集をするため、緊急時情報伝達システムの運用を進めます。

1 関係機関と連携した災害対応力の向上

(1) 「災害対策連絡協議会」や「帰宅困難者対策部会」を開催し、警察署等の関係機関・団体と情報共有や意見交換を行います。

- ・災害対策連絡協議会：5月13日、参加機関数49

(2) 「地域医療・保健体制に関する都筑区危機管理対策協議会」や「災害医療連絡会議」を開催し、区医師会等の関係機関・団体と災害医療に関する情報共有や意見交換を行います。

- ・地域医療・保健体制に関する都筑区危機管理対策協議会：7月1日、参加機関数7
- ・災害医療連絡会議：8月22日、参加機関数8

(3) 警察署及び消防署等と実施する水防訓練や、区医師会等と実施する災害医療対策訓練及び交通事業者や帰宅困難者一時滞在施設等と実施する帰宅困難者対策訓練等を通じて、関係機関・団体との更なる連携強化を図ります。

- ・早淵川水防訓練：6月8日、勝田町町内会エリア、勝田小学校

参加者：勝田町町内会、都筑消防団、都筑消防署、横浜建設業協会都筑区会、都筑警察署、都筑区役所、78人

- ・テロを想定した特殊災害対応合同訓練（主催：都筑消防署）

：7月17日、センター南駅前すきっぷ広場

参加者：横浜市交通局、都筑警察署、昭和大学藤が丘病院、都筑消防団、横浜市消防局（都筑消防署、鶴見消防署）、都筑区役所、65人

- ・災害医療対策訓練：9月21日 都筑区休日急患診療所等

(4) 区災害対策本部運営訓練を実施することで、区職員の災害対応力を向上させ、区本部体制の強化を図ります。

- ・区災害対策本部運営訓練：9月6日（地震想定）、1月

2 防災啓発事業の実施

発災時に迅速かつ的確な避難行動を取っていただくために、防災・生活マップやハザードマップを増刷の上区民の方へ配布し、日頃から避難所の位置や避難行動について理解を深めていただけるように、災害対策について啓発を図ります。

- ・洪水ハザードマップの増刷：2,000部

3 区本部体制の維持・管理

(1) 区本部運営に必要となる備蓄品や資機材等の維持管理、整備を行います。

- ・避難所開設用資機材（ライト、拡声器等）の整備

(2) 防災用スピーカーを、鶴見川沿いに1基増設しました。

- ・防災用スピーカー1基増設（佐江戸公園）：6月1日運用開始

4 緊急時情報伝達システムの運用

災害発生時又は災害発生が見込まれる際に、区内の自治会・町内会長等へ避難情報等を一斉に電話で知らせるシステムを引き続き運用します。

- ・受伝達訓練：6月5日

22 安全・安心なまちづくり事業 拡充	R 元 予算額	H30 予算額	増△減
		972 万 8 千円	929 万 8 千円

犯罪を未然に防ぎ、区民の安全で安心な暮らしを実現するため、防犯活動を支援します。
 さらに、交通安全啓発やスクールゾーン協議会の支援、放置自転車の対策を実施し、区民の皆様の安全を守ります。

1 地域防犯活動推進事業

地域防犯活動を行う自治会町内会及び地域の自主防犯のための青色回転灯パトロール隊に対し助成金を交付するとともに、研修会を行うなど活動を支援します。

- ・防犯研修会：8月8日、参加者数74人

2 交通安全運動

都筑区交通安全対策協議会を中心に、都筑警察署等関係団体と連携しながら交通安全運動を実施します。さらに、日々の交通安全運動に貢献された皆様に顕彰します。(2月)

また、子どもたちの安全・安心のため、学校や警察、土木事務所と連携し、スクールゾーン標示の整備拡充や交通安全啓発等を実施し、各小学校のスクールゾーン・防犯対策協議会の支援を行います。

- ・補助金支援：区内小学校 22 校
- ・スクールゾーン・防犯対策協議会への支援：24 校
 (区内小学校 22 校、新吉田第二小学校、東市ケ尾小学校)
- ・はまっ子交通安全教室：9 校 (5月～6月 7校、10月～11月 2校)

3 放置自転車対策事業

自転車等放置禁止区域 (センター南、センター北、仲町台、ふれあいの丘、北山田、東山田、中川、川和町、鴨居の各駅周辺) において適切な自転車利用を行うよう、監視指導を行う監視員を配置します。(年間 504 回、延べ 1,008 人)

23 食と暮らしの安全推進事業	R元 予算額	H30 予算額	増△減
	83万1千円	56万8千円	26万3千円

食の安全、暮らしの衛生、動物の適正飼育を推進する取組を実施します。

1 食の安全確保事業

(1) 食品取扱施設の衛生確保事業

横浜市食品衛生監視指導計画に基づく食品取扱施設への監視指導を、効果的・効率的に実施します。特に、抵抗力が弱い高齢者や乳幼児などを対象に食事を提供する社会福祉関連給食施設については、拭取り検査を併用した衛生指導を実施します。

- ・拭取り検査を併用した衛生指導：6月、小学校給食施設 22 か所、
7月1日、社会福祉関連給食施設 1 か所、
10月～3月、社会福祉関連給食施設 69 か所

(2) 食の安全に関する情報発信事業

食中毒予防パネル展や地域活動の担い手に向けた出前講座の実施により、食中毒予防に関する情報を発信します。

イベントや講座では、簡易機器を用いた手洗いの効果測定や手洗い方法を示したクリアフォルダの配布により、正しい手の洗い方を周知します。

- ・パネル展：5月～11月、5回
5月13日～17日、7月22日～26日、区役所2階絵画前PRスペース、
6月14日～22日、区民ホール、
7月31日、モザイクモール港北
- ・出前講座：4月～9月、10回程度
区民衛生講習会 4月16日、参加者数 10人、
地区民児協講習会 5月18日、5月21日、5月24日、6月17日、6月20日、参加者数延べ 96人
- ・手洗い実習：4月～11月、5回
区民衛生講習会 4月16日、参加者数 10人、
食育フェア 6月22日、参加者数 231人

2 暮らしの衛生確保事業

区民生活における猫・ネズミ・ハチなどの被害に対する支援として、被害防止器具の貸出しなどを実施します。

- ・猫侵入防止器の貸出：5件（7月末時点）
- ・ねずみ捕獲器の貸出：1件（7月末時点）
- ・ハチの巣駆除機器の貸出：9件（7月末時点）

3 動物適正飼育推進事業

動物愛護週間に長寿ペット表彰を実施するとともに、区民まつり、狂犬病予防注射出張会場において、ペットのマナー及び飼育などに関する啓発を実施します。

- ・狂犬病予防注射会場での啓発チラシの配布：4月、800部
- ・動物愛護週間イベント：9月24日～9月30日、区民ホール
- ・区民まつり会場での啓発：11月3日

施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

24 つづき水と緑の魅力アップ推進事業	R元予算額	H30 予算額	増△減
重点 拡充	263万9千円	221万8千円	42万1千円

環境創造局と連携し、区内の貴重な緑地の保全や農地の活用を進めます。

さらに、都筑区花いっぱい運動に取り組むとともに、区内の花と緑の名所を募集・選定・PRすることで、引き続き花や緑を大切にすることを醸成します。

また、平成26年度に改訂した「都筑区水と緑の散策マップ」を活用し、都筑区の環境資源の魅力伝えるとともに、今後のマップの更新に向けた版下の作成を行います。

1 緑アップ推進

(1) 緑地の保全及び農地の活用

重点的に保全等に取り組むべき緑地について、様々な制度を活用した保全の推進を図ります。また、地元等と調整し、区内に2か所ある市民の森（池辺・川和）のPRに取り組めます。

(2) 都筑区花いっぱい運動の推進

ア 「つづき みどりと花の名所25選」の実施

区内の「みどりと花の名所」を募集し、区民投票により25の名所を選定する「つづき みどりと花の名所25選」を実施することで、花や緑を大切にすることを醸成するとともに、区内の貴重な環境資源の魅力を見出す機会とします。

- ・候補地募集：平成31年1月～令和元年9月
- ・候補地の展示、投票：10月25日～10月31日、区民ホール
11月3日、都筑区民まつり会場内
- ・結果発表、展示：11月9日、12月5日～12月11日、区民ホール
12月～、区ホームページ

イ 区の花のPR

都筑区内の市立保育園・小中学校に区の花「サクラソウ」を配付し、区の花のPRを行うとともに、ふるさと意識を醸成します。

ウ 「早淵川・老馬谷ガーデン（HRG）」の維持・管理

地域及び東京都市大学と連携し、早淵川沿いの緑の拠点であるHRGの維持・管理に引き続き取り組めます。

2 散策マップの活用

都筑区水と緑の散策マップを活用して、都筑区の環境資源の魅力をもっと市民に伝えます。また散策マップの更新に向けた情報収集を行い、版下の作成を行います。

25 ハマロード・サポーター、 公園・緑道愛護会等活動推進事業 重点 拡充	R元予算額	H30 予算額	増△減
	423万円	202万3千円	220万7千円

身近な道路や公園を清掃、維持管理するボランティア団体や個人に都筑区の状況に応じた支援を行い、活動の活性化を図ります。

1 ハマロード・サポーター事業

各団体（43団体）が活動拠点で行っている花壇づくりのための花の種や苗などを提供するほか、高齢者や小・中学生などの夏の暑い時期の活動に配慮し、活動時の飲料水を提供します。

また、8月の「道路ふれあい月間」等で活動をPRするとともに、パネル展を開催しました。今後、交流会を開催します。

引き続き、外部アドバイザーを招き、専門的な活動支援を行います。

- ・道路ふれあい月間での活動PR（道の日イベント）：8月3日、区総合庁舎前ほか
- ・パネル展：7月2日～9日、区民ホール、参加団体数27団体
- ・都筑区交流会：12月
- ・外部アドバイザーの活動支援（「雑草に負けない美しい緑の道づくり講座」の開催）：6月2日、9月6日、北山田四丁目現地、参加者数約20人

2 公園・緑道愛護会活動推進事業

都筑区公園愛護会（154団体）の総会・幹事会等の各種会議を運営支援し、パネル展やPR活動を実施します。

地域のネットワークの核となる公園の拠点倉庫に、草刈り機など共用の資機材を備えるほか、東方公園ほ場で愛護会向けの花苗を生産・配布するための消耗品等を提供します。

- ・公園愛護会総会：6月29日、区役所食堂
- ・パネル展：7月2日～9日、区民ホール、参加団体数27団体

3 都筑^{りょくか}緑花塾事業

ハマロード・サポーター、公園愛護会、水辺愛護会を対象に、より高質な緑花を推進するための技術講座を開催します。

併せて、講座を通じて都筑区の実態に適した園芸手法をまとめ、普及を支援します。

- ・ナチュラルガーデン講座：5月21日～2月25日、5回、東方公園ほか、参加者数26人
 - 第1回 5月21日 多年草を利用した園芸手法の特徴について講義
 - 第2回 8月20日 都心臨海部の先進事例の見学と手入れ手法について講義

4 ちょっとボランティア推進事業

「ちょっとした掃除等なら個人的に協力できる」といった潜在的な区民協働の担い手の方々に、緑道など身近な公共空間の美化・清掃等に取り組んでいただくにあたり、土木事務所としてサポートできること、活動に当たって留意いただきたい点などをまとめた案内カードを作成し、公園愛護会等と連携しながら配布します。

案内カードの内容は、土木事務所のホームページにも掲載しました。

- ・案内カードの配布開始：8月1日

26 環境にやさしいまち推進事業	R 元予算額	H30 予算額	増△減
	171 万 4 千円	182 万円	△10 万 6 千円

「温暖化対策」と「3R 夢プランの推進」を一体的に進めていくことで、地球環境にやさしいまちづくりを推進します。

1 温暖化対策推進事業

(1) 次世代自動車活用・普及啓発

区公用車として導入した次世代自動車（電気自動車、燃料電池自動車）を活用し、各種イベント等でのPRや区内事業者への普及啓発を実施します。

- ・地域の夏祭り：7月27日、荏田東第一小学校
- ・区民まつり：11月3日

(2) つづきエコ活啓発

区民の皆様一人ひとりが実践しやすい温暖化対策の取組をPRするため、普及啓発イベントを開催します。

- ・環境講座：9月29日、区役所6階大会議室

(3) 緑のカーテン事業

区庁舎の緑のカーテンの維持管理及び区内小・中学校（9校）への育成支援を行います。

2 クリーン・ヨコハマ3R 夢推進事業

(1) クリーン推進事業

きれいな街を推進するため、自治会町内会等が実施する地域清掃の支援、駅周辺のポイ捨て防止啓発、不法投棄防止対策、農業専用地区の一斉清掃の支援などを行います。

- ・清掃ごみ袋の配付による地域清掃の支援：45 団体（8 月末時点）
- ・ポイ捨て防止啓発：8 月、区庁舎周辺

(2) ヨコハマ3R 夢推進事業

3R 行動を推進するため、ごみの分別の徹底や食品ロス削減のための啓発物品を作成し、イベントでPRするほか、東京都市大学と連携した環境講座や、赤ちゃん会での啓発、小学校等を対象としたリユース図書の配付などを行います。

- ・区民まつりごみステーション分別啓発：11 月、7 か所
- ・つづき3R 夢週間パネル展、リユース家具抽選イベント
：5 月 24 日～28 日、8 月 23 日～27 日
- ・東京都市大学と連携した環境講座：2 月、東京都市大学、定員 350 人
- ・赤ちゃん会での3R 夢啓発：9 月～3 月、14 会場
- ・リユース図書の配付：9 月、940 冊、区内小学校 17 校

3 都筑区温暖化対策・3R夢推進会議

街の美化や3R行動の啓発の取組が顕著だった団体・個人を表彰しました。また、温暖化対策・3R夢の推進に関する情報を共有する会議を行いました。(5月22日、被表彰者数3団体、8個人)

温暖化対策プラス事業

市立保育所における温暖化対策啓発事業 新規	R元予算額	H30 予算額	増△減
	806万1千円	0円	806万1千円

効果的に暑さ対策を行うため、新しい暑さ対策技術である「フラクタル日除け※」等を区内市立保育所へ設置します。また、市立保育所の園庭開放等を活用し、子育て世代と子どもたちを対象とした温暖化対策の啓発を行います。

※「フラクタル日除け」：樹木の葉の形状に模することで放熱特性を高めた人工日除け

1 フラクタル日除け等の設置

温暖化対策のモデル園として、区内市立保育所2園（みどり保育園・中川西保育園）にフラクタル日除けを設置することにより、温暖化防止に寄与する暑さ対策を行い、設置・導入の効果を検証します。

- ・設置：7月29日、みどり保育園
7月30日、中川西保育園
 - ・導入効果検証：8月1日～19日間の晴天日にデータ計測
- また、区内市立保育所5園全園にミスト発生機等を配備しています。

2 子育て世代に向けた温暖化対策の啓発

市立保育所で平日に毎日実施している園庭開放「おひさま広場」（平成30年度1万3千人以上参加）や、市立保育所周辺の民間保育所との交流の場などにおいて、上記フラクタル日除けの利用や温暖化対策グッズ(ネッククーラー)の配布等により、市立保育園に通う園児だけでなく、周辺地域や他園に通う子育て世代と子どもたちを対象とした温暖化対策の啓発を行います。

(温暖化対策グッズ配布：5園計580個、8月21日時点)



中川西保育園



みどり保育園における効果検証のための測定



※都筑区のマスコットキャラクター「つづき あい」
第3期都筑区地域福祉保健計画応援バージョン

令和 2 年度都筑区個性ある区づくり推進費 予算編成の考え方について

令和 2 年度都筑区個性ある区づくり推進費自主企画事業費の予算編成にあたっては、「つながり」「活力と魅力」「安心」を実感できるまちの実現を目指し、事業を企画します。

区民の皆様がずっと住み続けたいと感じていただけるよう、地域・団体・企業の皆様とともに取り組んでまいります。

都筑区らしさとして打ち出していく 5 本の柱

ア つながりと協働を育むまち

人と人とのつながりが実感でき、互いに支え合える地域づくりを多様な主体と協働して進めていくため、団体間の連携促進、人材の確保など、地域支援の取組の充実を図ります。

その中で、令和 2 年度は第 4 期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」を策定します。

あわせて、共感と信頼の区役所づくりを進め、つながりづくりを支えます。

イ いきいきと健やかに暮らせるまち

都筑区は年少人口の割合が 18 区で最も高く、平均年齢が最も若いまちです。子育て世帯に選ばれるまちとして、更なるこども・子育てへの支援を図ります。

また、今後早いスピードで進む高齢化を見据え、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を進めるとともに、「都筑区健康アクション！」に基づき、各世代に応じた健康づくりを進めます。

ウ 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

都筑区ならではの都筑野菜、優れた技術を持つ中小製造業、文化、スポーツや商業団体などの地域資源を積極的に活用した取組を進めます。

また、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、更なるにぎわいづくりに取り組みます。

エ 安全・安心なまち

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるまちを目指し、自助・共助による防災の取組や地域の自主防犯組織による防犯活動への支援などを行います。

また、全国各地で発生している地震や豪雨による被害で区民の防災・減災への関心が高まっていることを受け、地域や関係機関・団体と連携して震災や風水害に対する更なる取組を進めます。

オ 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

中期 4 か年計画で示されている「ガーデンシティ横浜」の推進を踏まえ、都筑区においても、花と緑にあふれるまちを目指し、施策を進めていきます。

都筑区の地域資源である公園や緑道などの安全対策に取り組むとともに、区内の魅力ある豊かな環境資源を広く発信していきます。また、環境にやさしいまちを目指し、地球温暖化対策を進めます。